京城日報

本紙定價　一部金五錢　壹ヶ月郵税共金八十錢　三ヶ月金二圓三十錢　六ヶ月金四圓五十錢

廣告料　五號活字一行一圓十五錢　同特別二圓廿錢　二號七字詰

發行所　京城日報社

編輯人　發行人　印刷人

京城日報

獨逸の帝政復興運動（下）

獨逸の帝政復興運動が、突如として起り、意外に手際好く成功せしが如きの報に對し、又突如として其の沒落を傳へ來る。伯林より十五日桑港發電に、一時獨政官となりたるカップ氏が退讓したりとの報道是なり。然れどもエベルト政府が斯く急遽に避難したりしことは、其の前日（十四日）に同處より發せるものにして、其間實に一日に過ぎず。如何に突發的の革命なればとて餘りに轉變の迅速なるに驚かざるを得ず。而も同じ十五日の發電報には、獨逸國内に於いて内亂勃發せんとするの兆ありと報じ來れるより見るときは、帝政復興運動の斷じて鎭壓せられ了りたるにあらざるを知るべきなり。

思ふに獨逸に社會黨政府の現出したるは、大戰の齎らせる反動現象にして、自然的大勢の歸着とは見るべからず。譬へば從來冠り古したる絹帽を修繕せんがために、一時之を脱して中折帽に代へたるが如し。絹帽の棄て難き情緒は、獨逸國民間に燃ゆる所のものにして、殊に講和條約締結以來獨逸の現狀に慊たらざるものが、一齊に帝政時代の國勢國威を回顧するを禁じ得ざるべく、況んやヒンデンブルグ、ルーデンドルフなど國民與望の中心人物たる偉材の、暗々裡に飛躍するものあるをや。世人或は獨逸の帝政復興運動を以て時代に逆行するものにして、到底成功を收め得る代物にあらずと觀察するものあらん。此の如き淺薄なる見解は吾人の斷じて與し能はざる所、吾人は寧ろ此の運動を以て、獨逸復活の曙光として、其の成行を觀察するものなり。何となれば獨逸の國民性と其の歷史とは、晩かれ早かれ當然之を要求すべきものなるを以てなり。

獨逸の帝政復興運動のために第一に脅威を感ずるものは佛國ならざるべからず。是巴里講和會議にフオッシュ元帥の列席を要求されたる所以なるべきも、元來講和會議は米國が事實上の脱退を初めとし、英佛伊三國間の結合も亦舊時の如くならず。從つて會議の威力漸く減耗せるの實を免れず。たとひ佛國が强硬干渉論を提唱するも、英伊の之に共鳴すべきや否やは頗る疑はしきのみならず、獨逸が如何なる政綱を立て、如何なる政府を組織するとも、そは獨逸國民の自由にして、講和條約にも一も之を羈束するの箇條なきが故に、今回の運動のために直に干渉を試むるが如きは、恐らくは列國の歩調を一にする能はざるべし。されば獨逸にして講和條約を破壞せざる限りは、結局内政不干渉の外なかるべく、獨逸は結局外力の壓迫より免るゝを得べし。

吾人がかく記し終りたるとき、別項所載の如く、伯林革命派と在ドレスデン政府との間に妥協の成立したるを報じ來る。前宰カップ氏の退讓とあるは此事なるべく、吾人想察の通り帝政運動の未だ失敗したるにあらざるを匿す。知らず今後の成行果して如何。

屑屋の籠

義經と靜御前　隈汀生

項羽と其の寵姫虞氏との哀別は余をして亦義經と靜とのあはれな別離の愁ひを聯想せしむる。義經は勇氣と武略とに於て項羽に似、靜の貞節は、虞氏の夫と偽りの判然せざるに比べて、更に一層英雄の末路を詩的にする。靜は白拍子であつて、義經の妾となつた。白拍子は、鳥羽の御時より鎌倉時代にかけて歌舞を奏させる婦女を云ふので、烏帽子、水干を著けて舞ひ、水干は多く白色を用ふるゆゑに斯く名づけられた。義經が兄賴朝と中違ひて吉野の山に落ち行くや、靜も亦隨ひ來れるが、此處にて義經に別れ、女道の唯一人、深雪の中をさまようた。さて後、鎌倉に召されて義經の所在を申せとの糺問、且は白拍子の舞を一曲奏でよとの賴朝の嚴命、再三辭するも聽されず、遂に白雪の袖を飜して歌つて曰く、

吉野山峯の白雪ふみわけて入りにし人の跡ぞ戀しき

是れ『古今集』の歌の末句を言ひ換へて、吉野にて別れし義經を戀ふるの意を歌うたのである。つゞいて

倭文や倭文、倭文の苧環くりかへし昔を今になすよしもがな

倭文とは織物の名、楮、麻、苧、などの絲を青、赤などに染め、亂文に織りたるものを云ふのである。是壬生忠岑の歌を少しもじりて、苧環の循環に喩へ、再び義經を世に在らせんことを願つ

羅馬尼皇太子來朝

羅馬尼皇太子カロル殿下（御年二十六）には、既に首都ブカレストを御出發、埃及を經て御來朝の途に就かせられ、四五月の交東京に御著あらせらるべしと。羅馬尼は、我が國の本島よりも稍大にして、人口約一千三百三十萬、バルカン半島ラテン民族の内に挾まりて、獨りラテン民族に屬し、羅甸的言語を操り、羅甸的文明を誇りとし、首府ブカレスト亦實に小巴里の稱あり。先帝カロル第一世の妃エリザベスは、頗る詞藻に富み、夙に文壇の一異彩として評判高く、カルメン・シルヴァ（林壁女史）の雅號で世に知られ給うた方であつた。

『タバコ』といふ語

『タバコ』といふ言葉は、亞米利加土人の烟管を『トバゴ』といふより出づ。『トバゴ』は通常Y（ワイ）字形を成し、中空にして二叉に岐れ、其の二つの尖端を鼻孔に挿入れ、他の一端に賓み詰め込みて其の煙を吸ふやうに出來て居る。多くの人は『タバコ』の名言葉は『トバゴ』といふ島の名より來るといへど、そは誤謬にて、反つて其の島が、形の烟管に似たるよりコロンボ（亞米利加大陸の發見者）に依りて命名せられたのである。

妻となりて（五十一）　布施生譯

襟子は勿論用金臭うはあつたが矢張り何處か人目を惹く位の姿を有つてゐた。同行して歩いては自然目立つ恐れがあるので九郎は『どうですまだ少し時間があるから其間三越へでも往つて被在い、一時になればお迎ひに參りますから』と體よく勸めて追つ拂つた。

襟子に邂逅したのはつまらない事のやうではあつたが、しかし九郎はお蔭で數日來の鬱ぎの蟲がされた上手許の狂ひも立直る見込がついた。委しい事は分りかねるが襟子は窺ずる所小枝子と連絡があるに相違ない、そう考へ附いた丈で九郎はもう侯爵の肩に手をかけた位に思ひ勇んだ、小枝子を種に侯爵に對し狂言書いた上更に小枝子と侯爵とを通じて雅子に近づき崖壁の財産に手を延ばすと云ふのが其目論見であつた、九郎は侯爵が閉口してゐる事情を一から十まで知りぬいてゐた、呉喜代造が失踪後引續いて死んでしまつたと云ふ事が侯爵を飛んだ困難な端目に立たせる原因になつたのだつた、いやそれ處ぢや無い侯爵が困つた端目に立やうになつたのは畢竟侯爵が呉の妹に戀した爲で其爲自分は知りもしない呉の負債を引受けなければならなくなり、盜用の手にある呉の借用證書には侯爵の印が捺してはあつたが、それは僞で然もそれを言立てれば結局友人呉の後暗い咎を洗立てる事になるそれを思ふと侯爵は默つて其負債を承認する外は無かつた、九郎はそれを知つて何だ馬鹿〳〵しい義理立だと嘲笑ひはしたものゝ、此間からの事情は一切それこんな値を拂つてまで戀する程の女といへば世間にそう澤山有るのぢやあ無い、其癖小枝子はそんなに美しい女とは見れないのだが、いや美しくないばかりぢや無い、九郎は寧ろ小枝子を嫌つた、多分小枝子が自分を好いてゐないのが分つたからでもあつたらうが、いやしかし自分は何如でもいゝ、兎に角侯爵が一生懸命小枝子を戀してゐる事だけは呑込めた。

呉が失踪すると妹の行衛も同時に分らなくなつた。侯爵に是非探そうなしに身を隱したのだと云ふ事で、九郎は侯爵が焦慮り狼狽りながら窃に冷笑した、小枝子の行衛を侯爵があらゆる手段で探した事は醉築する迄もない侯爵と表向きに喧嘩をしてから數日の間九郎はもう一度侯爵に近づく手段を思ひ廻らしたが雅子の結婚ですべての計畫は丸潰れとなつてしまつた面目も潰れ、ば懷中も潰れた九郎は小兒の時から今迄雅子は自分のもの、自分の考へ通りになるもの、自分の好み通りにならせ得るものとばかり思つてゐた、それ故初め他人へ嫁入つたと聞いた時は吾と吾耳を信じかねた、漸う事實を承認しなければならなくなつたもの、今度はそれを敵し難い行爲のやうに思ひ做した、そしてむしやくしや紛れに吾と吾が手で宣告して雅子は己を馬鹿にした不届き極まる女だときめてしまつた、潰れた面目を立てると云ふ事は姑く差措ても差支は無い、しかし雅子の財産を取逃がしたのだけは其儘に差措きかねる、金に何が何でも入用なんだ、そして其金は侯爵を通じ雅子から取つてやりたい。

講談雜誌　四月號

小野寺十内　如翠

老中板倉内膳

東京市本石町　博文館

新評　梅暦　非水作　宗三譯

江戸情話の生粋

女浪人…白帆

口繪　拾五錢

名人競べ　女浪人　大倉桃郎

捕物奇談　二挺駕　田村西男

探偵　眼科醫院　岡本綺堂

小說　九十九里濱　須藤南翠

宿無園七　竹秀一

温泉情話　歡樂郷　松崎天民

金比羅船　鶯塘　武田

探偵奇談　宣教師の戀　片山

怪談　牡丹燈籠

奴の小さん

猫と東伊惣太

三遊亭圓右

侠約の極意

彌次郎

探偵奇譚　人形の片腕

佛　頂面

故鄕の無い男

大懸賞募集　和歌・俳句・小唄等

ポケット

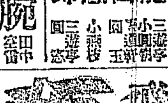
蠶學講義錄

應用肥料講義錄

商業登記公告

仁川支廳

飛行機！



織元から直接買へば　如何して安いか

第三回　拾圓たし反物が約五圓

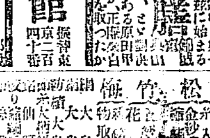
松　均拾五圓

竹　均拾參圓

梅　均拾壹圓

青木商店

オルガン新荷着



釘本樂器部　京城本町二丁目

最新刊

內鮮の新研究

親和力

哲學綱要

我子の職業撰擇

惱める森林

それからの漱石の猫

千年の門

大阪屋號

主婦之友　結婚準備號　春季特別號　いよ〳〵出ました

夫選擇に成功し經驗

夫選擇に失敗し經驗

娘の結婚問題に就て母としての理想は斯うです

結婚に失敗して自殺せんとした二人の婦人

現代に適當した結婚の儀式と披露は斯くせよ

困苦の中から夫を大實業家に成功させた夫人

妊娠中の不注意からお産に失敗した五人の婦人の實驗

縁談の爲に惱む處女の告白

小說不如歸以上の家庭悲劇

本誌獨特の實用記事

長篇小說　金扇　渡邊霞亭先生傑作

小說秘密　吉祥草　岡本綺堂

諧謔小說　珍太郎日記　佐々木邦

特價四十錢　東京家政研究會

羅馬中興史

最新刊發賣……好評嘖々

文學士坂本健一先生譯＝人生の一大教訓

羅馬盛衰史

世界最古史

學校教育百話

自學獎勵會編

家庭教育百話

愛兒の躾けと教育

家庭教師としての母の讀本

井田靜夫先生著

子供の性質

乳兒の教育

現代生活と禪

曹洞宗管長日置默仙禪師著

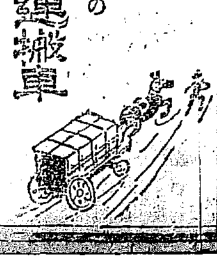
發兌元　隆文館圖書株式會社

時勢は運搬車を要求す

能率無比、世界第一の

パッカード運搬車

必使用して始めて平和戰の勝利者たるを得べし



京城長谷川町一一六

內外興業株式會社自動車部

伯林革命光景
獨逸の正体を暴露
革命に右黨政治家不參加注目

伯林の革命は數週間來企てられつゝありしものにして政府がルードウ井ッツ將軍を罷免し又カップ氏及び其の同志に對する逮捕令を發せしも時既に遲く反動派の計畫は着々進行し政府が閣議を開き反動派軍の要求を退くるや同軍は容赦なく主都に入り込み血を流さずしてウ井ルヘルムストラーセを占領したるが大統領大臣等は逃亡せり運動の中心は東普魯西デーベリッツに在り同地は保守黨の根據地にして由來共和政を蛇蝎視し居たるものなりルードウ井ッツ將軍は國防第一團長にしてボッダムに在り又首都の國防軍は毫も抵抗せず國防大臣ノスケ氏は恰も飼犬に手を嚙まれたるの觀ありカップ氏は東普魯西知事にて曾て彼の祖國黨を組織したる汎ゼルマン派の首領なり新宰相バプスト氏は近衞騎兵師團附參謀たりしものにて又ノスケ氏の直參なり而して此の革命に議會の右黨政治家等が參加し居らざるは注意すべし目下實權はルードウ井ッツ將軍の手に在りこれ軍人の謀反にして一千八百四十八年革命のウランデル將軍の行動に等し目下は唯社會黨政府の顚覆に止まり帝政の復興は圖らず然れども佛國人は之れ獨逸の正体を暴露せるものにして以て其の眞價を輕視する者を覺醒するに足るべしとなしつゝあり商事件勃發當日は鐵兜を冠り爆彈を携へたる巡邏兵市中を廻りたるも第一日は市中の交通平常の如く市の中心に遠き處にては遂に事件を知らざりし位なりと（巴里電報）

獨協約締結
ドレスデン政府及伯林革命政府
カ博士政府組織企圖拋棄
大統領は人民に依りて選擧

伯林の形勢は今尚混亂の狀態にあるが今回在ドレスデン政府と在伯林革命政府との間に左の條件を基礎として協約締結されたり（伯林電報）

一、カップ博士は政府を組織せんとするの企圖を拋棄す
二、バウエル內閣は辭職し之に代ふるに學者專門家等より成る內閣を以てす
三、國民議會の選擧は二箇月以內に之れを行ひ國民議會と共に勞働議會を設く可し
四、獨逸共和國大統領は人民に依りて選擧さる可し

バ政府援助宣言

南部獨逸の索遜、巴威、ウユルテンベルヒ、バーデン、ヘッセンの諸政府はバウエル政府援助を聲明せる宣言書を發布したり（伯林電報）

國民議會召集

國民議會議長コンスタンフォーレンバッハ氏はスツットガルト市に到着し十六日を期して國民議會を召集したり（伯林電報）

キール戰鬪開始

キール軍港に革命派と否革命派との戰鬪開始さる（巴里電報）

土帝組閣を命ず
前海相サリコパシャに對し

土耳其皇帝は前海相サリコパシャを招き內閣組織を命ぜり氏の手に成るべき內閣は中正にして前內閣と等しきものならんと傳へらる（巴府電報）

伊太利閣員更迭

十三日首相ニッチ氏は皇帝に謁見したるが右は內閣改造の爲めにて其の結果有名なる經濟學者ルザッチ氏大藏大臣に任ぜられ陸軍大臣には文官側より任命ある可く外務大臣スキヤロカ氏は更迭せざる由（羅馬電報）

勞農講和開始意嚮
勞農政府全權委員浦鹽着

內外各種問題を解決すべく勞農政府全權委員として莫斯科より派遣されしウイリンスキー氏は十四日浦鹽に着し全極東總督ロザノフ將軍の官舍に入れり氏は有らゆる困難と危險とを冐し辛うじて浦鹽に到着せるを以て疲勞し居れるが氏は日本にして同意せば講和交涉を開始すべく又其の用務に關し多くを語らざるも極東には日本支那其の他各民族雜居せるを以て歐露と同一の政治組織とはなすこと能はざるべしと云へり尙氏は勞農露西亞の現狀を紹介すべく之が材料を携へ居れりと（浦鹽電報）

勞農政策の主眼
平和的關係確立

イルクツクより浦鹽に着せる勞農政府特派使節にして人民代表委員たるウレンスキーは曰く極東に於ける勞農政策の主眼は諸外國と平和的關係を確立し且つ永續せんとするにありと（浦鹽電報）

米對露方針決定
支那列强方針決定に從て行動

胡駐米公使より支那政府への報告に據れば『米國政府は對露方針を決定し過激派政府を承認せざるも通商開始は列强と一致の步調を執る事とせり』と云ふ以外未だ此等の方針に就ては何等決定せざるも支那政府は嚴正中立を守ると共に列强の對露方針決定に從つて行動す可き意嚮なりと（北京電報）

農民政府とセ將軍
セ將軍書類發表

セミヨノフ將軍はニジュノブロド（莫斯科の東方「ヴォルガ河岸」）に於て昨年十月廿一日組織されたる全露農民政府より送り來たれる宣言書政綱等を記載せる書類を受け本月七日之を發表せるが該宣言書は十月廿一日及び十一月廿一日發表のものにして要するに過激派も其他の政派も露國を極ふに足らず農民黨みの之を能くすと云ふにあり而して十一月廿一日の宣言書には頭領セミヨノフ將軍に『露國農民政府獨裁官たらん事を提議し若しセ將軍にして之を容るれば同政府は將軍に從ふ可し』と述べ居れりと（某所着日東京特電）

浦鹽過激派橫暴
屢々我軍と小衝突

浦鹽に於て日本守備隊と過激派軍との間に衝突起れりとの報道は十七日朝迄其筋に入電無きも過日來浦鹽ゼムストヴオは日本司令官に對し速に鐵道守備を撤退す可きを要求しつゝあり之に對し我司令官は何等應ず可き氣色無かりしを以て過激派は最近に至り自暴的行動を執り隨所に我守備兵に對し不穩の態度を示し其都度小衝突を爲しつゝあるが一方哈爾賓に於て過激派はホルワット將軍を壓迫し遂に鐵道從業員の同盟罷業を爲さしむる等著々其運動功を奏しつゝあるが之等に對しても何等抑壓的態度を執らざるが爲め過激派は益々橫暴を極めつゝあり目下同方面は鐵道運絡杜絕せる爲め風聲鶴唳にて不穩の流說行はれ人心恟々たりと（某所着日東京特電）

哈爾賓休業繼續
各國領事善後策協議中

哈爾賓全市の休業は依然繼續し軍隊及び警官は悉く赤布を纏ひ革命黨に參加したる爲め市內の治安は支那軍隊にて支持せられつゝあり各國領事側は會議を開き善後策協議中なり（哈爾賓電報）

武裝解除要求中止
我守備隊の要求に依り

長春支那側官憲は十七日百名の兵を以て寬城子の露國兵營に對し武裝解除を要求せんとせしが該兵營は我守備隊營舍と隣接せるを以て萬一の騷亂を慮り我當局より支那側に中止方を勸めたる爲め一時中止と爲りたるが何れ機を選び他の圓滿なる方法にて要求を爲す事とせりと（長春電報）

軍需品檢査と紛擾
交涉の結果落著

十六日來寬城子驛にて阻止せられつゝありし列車十七日午前十時寬城子に着せしが支那官憲はホルワット將軍より行政警察權の引渡を受たりとの口實の下に同列車に積載せる我軍需品を强ひて檢査せんとせしより紛擾を惹起したるが此報に接したる長春杉山憲兵分隊長福本警察署長益田守備隊長其他關係軍憲は時を移さず同地に急行し滿鐵事務所山內大尉と共に驛頭にて約二時間に亘り孟中隊長其他支那側軍憲と種々交涉の結果漸く諒解を得たるが此爲長春警察署非番警官は禁足を命ぜられ尙寬城子驛にはホ將軍政權引渡の公文を揭出し支那軍憲にて嚴重守備に任じ居れり（長春特電）

ホ將軍政權拋棄
現地位に止まるは困難

十七日午前哈爾賓よりの報道に據ればホルワット將軍は過激派及び支那側其他周圍の壓迫に依り遂に其政權を拋棄するの已むを無き事情に立至れる爲め罷業中の東淸鐵道從業員は十七日午前十一時より復業する事となり同時に列車を運轉す可しと傳ふ然れ共これ公報に非ざるも多分復舊す可しと信ぜらる而して從業員一般は極力ホルワット將軍排斥を行はんとしつゝある爲めホ將軍は現地位に止る事困難ならんと（東京特電）

我軍過激軍擊破
グレペンスクに於て

其筋著電グレペンスク附近セミヨノフ軍の大部分が討伐に出で不在なるに乘じ過激派約一千五百名は過激派に投じたるセ軍の一部と共にグレペンスクを急襲し掠奪を始めたる露國兵營を占領し一部は市街に一部は我外衞兵の前方一帶を占領し我軍を攻擊し來りたるより步兵第七十一聯隊第一中隊（久保中尉指揮）を急派せり然るに敵は再三再四突擊を決行せるに依り更に伊藤大尉の機關銃隊を增援し午前十一時半敵を敗走せしめたり一方市街方面の敵は市內にて盛んに掠奪を始めたるより守備隊長宇田少佐は第四中隊及び機關銃隊を以て對戰しつゝあり而北區司令官は救援の爲め第三中隊と共に機關銃其の他五門を以て十三日ネルチンスク驛附近に急行せしめたり此の戰鬪に於て我軍は久保中尉以下重輕傷十一名戰死者下士卒三名を出し敵は屍体百を遺棄し死傷者多數の模樣なり（東京特電）

我兵難行軍を繼續
一時過激派の重圍に陷る

〇〇守備細川中尉指揮の我一箇小隊は過激派の重圍に陷り鐵道沿線に出づる能はざるを以て同地を死守せんと決心せしも其の筋より訓令達したる爲め二月下旬〇〇を出發し十日間の馬車旅行を以て〇〇に安着したるが更に本月五日驛逓に乘りて〇〇を出發し日本陸軍としては曾て經驗なき十八日間に亘る砂漠旅行を續けたり該砂漠旅行は食物缺乏と宿舍の設備無き爲め非常なる困苦を嘗め既に營養不良の爲め鳥眼となれる兵士四名を出したる程なるが細川中尉は部下を激勵して此の難行軍を繼續しつゝあり若し途中障礙無くば廿三日〇〇に到著すべく〇〇よりは比較的安全なる旅行を續け〇〇に歸著の豫定なりと傳へらる同地官民は其の行軍の安全ならんことを祈り居れりと（北京電報）

靳內閣一先づ小康
總理の讓步に依り

久しく危機に瀕しつゝありし現內閣も靳總理の讓步に依り段派の兩總長を選定し議會に同意を求むる事を承諾したる結果安福系三總長は辭意を取消し國務會議に出席せるを以て茲に靳內閣も一時瓦解を見ずして治まりたり（北京電報）

東鐵運轉開始

東淸鐵道は愈々十七日午前十一時より運轉開始の事となり長春に於ては午後一時半發列車より開通の筈なりしも別項寬城子に於ける紛擾の爲め午後三時發車すべし（長春電報）

前年度豫算施行勅令公布

大正九年度に於て憲法第七十一條に據り前年度の豫算を施行する旨の勅令十七日官報を以て公布されたり（東京特電）

西伯利經濟援助會廢止
外に一課を設置

外務省に設置されたる西伯利經濟援助會は本年度末限り廢止さるゝに決定せるが右廢止と共に西伯利經濟に關する一課を外務省に設置せらる可しと（東京特電）

地方長官會議（第一日）

地方長官會議第一日は十七日午前十一時五十分首相官邸にて開會各大臣等列席原首相より訓示を爲し終つて午餐を共にし午後二時散會せり尙第二日は十八日午前十時より開會床次內相の訓示川村保局長の總選擧取締に關する指示並各地方局長の注意事項說明ある可しと（東京特電）

刑事令改正

朝鮮刑事令改正の件は十九日附官報を以て發布さるべきが右は第四條第五條を改正したるものにて公布の日より施行さる可しと

通信收入增加

大正八年度九年一月分通信事業收入は六十九萬一千一百二十三圓にして豫算に比し十五萬八千八百〇二圓（三割）を超過し前年度同月分の收入に比すれば九萬九千百四十六圓（一割七分）を增收せり又本月迄の收入累計は五百九十二萬〇百〇九圓にして豫算を超過すること百六十九萬〇百七十四圓（四割）前年度同期の收入に比し百二十五萬四千五百七十六圓（二割七分）の增收となれり

綿布移出原因

京城に於ける綿絲布が內地逆送及び滿洲移出さるゝ事は既報の如くなるが右は金融關係何れによる荷透きの目的による荷動きには相違なきも單に荷透きを目的とする荷動きとのみ見るべからざるものあり內地逆送は兎に角滿洲移出は一面より見れば京城綿絲布業者の商圈擴大と目せられざるにあらず又品により事實京城値段の內地値段に比し安價なるものあり例へば細巾晒の如き京城二十四圓五十錢なるに內地にては二十三圓五十錢を唱ふる狀況なるを以て値段の上より見るも滿洲方面より自然買注文の入り込むにならんと

農林會社出願
資本金一千萬圓

京城府賈閔泳徽、李埼鎔、南昌祐の三氏を發起人代表とする農林株式會社（資本金一千萬圓）は三月十七日附其筋に設立許可の申請を爲したるが同社は前記三名を發起人とするものにして本社を京城に置き（一）土地、山野其他不動產の取得讓り渡及賃貸借（二）土地の開墾並に水利經營（三）林業（四）畜牛の成育預託及び其賣買（五）農產物林產物畜產物の賣買並に委託販賣等を目的とするものにして資本金一千萬圓中第一回四分一拂込二百五十萬圓を以て營業用建物敷地買に一萬圓を、營業用什器費に一萬圓を、九十萬圓を農地購入費に充て、天水田五百圓の割、田一千町步を一町步八百圓の割、田一千町步を一町步四五百圓の割にて購入し一町步四十圓の割を以て林野四千町步を購入し水利工事費に六十萬圓を、造林及び保護手入費に十六萬圓を、預託牛購入費に十五萬圓を、畜牛及び畜產物賣買其他運轉資金に三十九萬圓を充つべく第一期の收入七十八萬二千圓、支出三十三萬二千圓、差引純利四十五萬一千八百圓を計上せり

朝鮮電興進捗

兩炭山の採掘特許、煉炭の製造、完全燃燒機据附の三事業を目的とする朝鮮電氣興業會社にては過般技術員多數を雇聘したるが其補充として最近米山專務東上し工學士四名其他を傭聘し更に囑託として前滿鐵撫順炭坑長工學博士米倉清族氏を迎へんとする模樣にあり

社員の充實

なると共に事業の進展も面目を革たむべく現に昨年來總督府に採掘許可出願中なりし貞柏里炭田並に江東炭田は二月末日特許の指令あり前者二百萬噸後者は五百萬噸の出炭能力を推定されつゝあるにつき假りに一噸の利益を評價するも七百萬圓の增價を來す譯となり從來の採掘中のものと合せその採掘力の附加は特筆に値すべし又同社にて据附を急ぎつゝある五百キロ發電機二臺は四月末若くは五月上旬までに据附けを終り右の終了と共に一晝夜の煉炭製造能力は四百噸を算すべく一ヶ月一萬二千噸を超ゆる豫定なるが如し又同社のモンド瓦斯發電は無煙炭を豫定の如く得難きにつきこれを延期する事となり右に換ゆるに

無煙炭粉末

の完全燃燒による火力發電を得自己工場に…

三井綿花部獨立
辻三井支店長談

三井物產會社が綿花部を獨立せしめて別個の會社組織となしむる件は未だ正式に本店より通知なきも既に多年の研究の結果にて事實一億圓の會社の一部門として綿花部を置くは運用上至便ならざる點あり且三井物產の商業は固々內國品を海外に輸出し外國品を內國に輸入するにありたるも戰前より事業は漸次世界的となり國際的となり戰時中及び戰後に到りて其傾向は益々顯著となれり即ち海外相互間の貿易旺盛となりたる也而して綿花取引に於て特に著しき傾向を帶び例せば孟買の綿花を支那歐洲及亞米利加に輸送し又は亞米利加の綿花を獨英佛伊の諸國に輸送する等の必要あるに至れり尙新に成立さるべき會社は其の名稱は未定なるも東洋綿花株式會社とでもなすべきか恐らく後二兩日中には業務開始さるべく又社長には三井同族中より向き兒玉綿花部長は專務の職に就くべく又社長は三井の稱號は冠せざるべきならん更に同會社の幹部として骨子とすべく三井物產綿花部を以てすべきか恐らく三井同族中より之を迎ふるに至るならんと思はる而して更に三井物產の販部門中二三部門を例へば船舶部を三井汽船株式會社となす如き機會に到達するやも測られず

品評會出品物
京城會議所主催

來る八九月頃京城商業會議所主催にて開催さるべき京城生產品評會は其出品區域を京城府及び府に接近せる高陽郡北に始興郡の一部とし出品物は出品者の產又は製作したるものに限り大體左の種目とす

（第一類） 清酒、果實酒、其他酒類、清涼飮料、醬油、味噌、菓物、菓子、罐詰類、穀物、蜂蜜及蜜蠟、牛酪、再製鹽、果實、精米、精麥、製造煙草（官煙を除く）
（第二類） 生糸、織糸、製紋、染織、織紐、パテンレース、莫蓙、毛物、製綿、袋物、刺繡製品、絹物、莞草製品、製紙、紙函、印刷物
（第三類） 鑄物、金銅、金銀細工品、陶磁器、硝子器、瓦、煉瓦
（第四類） 植物製油、石鹼、石粉、石灰、化學肥料、染料及塗料品、諸藥品
（第五類） 家具、工具、農具、漆器、薄板及折箱類、竹細工、文房具、履物、皮革及皮革製品

仁川期米出直

十八日前場の仁川期米は買過ぎ反動東京大阪兩市場の月直り模樣の小高に刺戟され先限寄附四十八圓三十錢高值五十錢止め四十八錢と强硬を呈せしが尙は目先一段高の模樣なりと

印紙收入概況

大正八年度九年一月分印紙收入は七十六萬七千二百四十五圓同月迄の累計は七百十五萬九千七百八十二圓にして前年度同期の收入に比すれば本月分は二十五萬三千四百二十六圓累計に於て二百七十萬九千八百七十九圓を增收せり

總監邸晚餐會

水野政務總監は十八日午後六時半同官邸に柴田學務局長を始め學務課員を招待晚餐會を開催せり

鮮銀新株割增

朝鮮銀行の新株公募は十九日を以て締切るべきが十七日の申込みはプレミアム最高七十圓のものあり尙ほ株式崩落せしにつき新株の公募は一頓挫を來せしやうなれど相當有力筋の申込みあり六十圓臺にあらざれば募入は困難なるべしと目せらる

パルプ工業計畫

朝鮮パルプ工業株式會社は資本金五十萬圓を以て大阪谷田國次郎、高井廸次、苫米池造酒彌、小杉謹八の諸氏發起人となり谷田氏發見に係る化絹より製紙原料パルプ製造並に之に附帶する事業を營むを目的とし十八日設立許可の申請をなしたり

窯業創立總會

京城窯業株式會社創立總會は十八日午後二時より京城俱樂部に開催苫米池造酒彌氏開會を宣し發起人總代設立經過報告、取締役及び監查役の選任に移り左の諸氏就任したり

常務取締役永島鍋吉、藤田安之進、專務取締役富野繁市、取締役宮崎寅雄、林田金次郎、小杉謹八、苫米池造酒彌、監查役渡邊定一郎、安部堅次、馬場喜久衞、社長苫米池造酒彌、相談役松本勝太郎、志岐信太郎

特許瓦工塲增設

特許セメント瓦株式會社にては內地に於けるセメント瓦の需要漸く增進し將來益々有望なるより殷賑專務は大阪及び名古屋に出張兩地に分工塲を設くる事となり土地の買收を終り機械据付中の由につき四月頃より兩地共に作業を開始し得べしと

善隣商業卒業式

私立善隣商業學校にては十七日午後二時より卒業式を擧行せしが柴田學務局長總督代理として臨席左の祝辭を朗讀せり

茲に私立善隣商業學校卒業證書授與式に臨み諸子の爲めに今日の榮學を祝す諸子本校に在ること多年茲に所定の課業を卒へ將に出でゝ實務に就かむとす誠に慶賀すべきなり惟ふに未曾有の大戰爭漸く終熄し世運一展して時局茲に變じ又憂ふべき現象なしとせず特に身を商業に委ねむとする者深く之に省み重厚堅實を旨とし浮華輕薄を戒め以て國力の培養に勉めざるべからず諸子の出でて其の衝に當らむとす責務重且大なりと言ふべし須らく奮勵自彊以て本校教養の旨趣を達成せむことを期せよ

新設會社

▲東洋藥房 箕田金太郎氏等より出願中なりし合資會社東洋藥房は十五日附許可ありたり同社は資本金一萬圓を以て『ゲンノショウコエキス』を製造販賣を目的とするものなり▲朝鮮食料品會社 佐藤牧太郎氏外七名より出願中の朝鮮食料品株式會社（資本金五十萬圓）は三月十五日附許可されたり同社は本店を京城に置き海產物罐詰類の製造を爲すを目的とすと▲大東印刷會社 同社は發起人代表朴鼐宰氏名義を以て十五日附其筋に設立許可の申請を爲したるが資本金五十萬圓を以て一般印刷業並に金錢貸付業其他を經營するものなりと▲京南農業會社 京南農業株式會社は十一名より出願中の所十五日附設立許可の指令ありたり同社は本社を忠南大安に置き資本金二百萬圓を以て物品委託販賣業を行ふものなりと▲京城石材會社 京城石材株式會社資本金增額及び發起人變更許可の件は豫て出願中の所十七日附許可ありたり發起人谷口與次郎氏外七名より出願中の所資本金三十五萬圓を五十萬圓に增額せしむるものなり▲石崎商店支店設置 石崎商店にては新義州に支店を設置する計畫あり出願中の所十七日附許可ありたり▲水原商業會社 森元俊之助氏外九名より出願中の所十七日附許可ありたり同社は本店を水原に置き資本金十八萬三千圓を以て繩叺賣買農器具製造販賣等を目的とする者なり▲朝鮮礦山會社 朝鮮礦山株式會社牛壤支店設置の件は豫て出願中の所三月十五日附許可ありたり

輸入稅減免案
延長樞府提出

十六日の定例閣議に於て大正八年勅令第四百七十八號大豆、生牛肉、鷄卵、綿絲及び綿織物の輸入稅減免に關する件の法律案は第四十二議會に提出したるに議會解散の爲め不成立に終りたるを以て其効力の延長を必要とする關係上之が効力の延長を樞密院會議に提出し其承認を得て緊急勅令を以て之を公布する事に決したり（東京特電）

人事消息

▲朝倉外茂鐵氏（辯護士） 全州出張中の處十七日歸城
▲佐々木正太氏（慶南第一部長） 十八日入城浦尾へ
▲神田長平氏（西鮮鐵道專務） 同上
▲西崎鶴太郎氏（鎭南浦實業家） 同上
▲安藤堅次氏（朝鮮セメント專務） 同上 內地旅行中の所此程歸城
▲林總督府司計課長 十八日釜山上陸十時急行にて北行歸城
▲沼村總督府事務官 同上
▲西田常三郎氏（元山每日社長） 同上
▲青柳綱太郎氏（京城新聞社長） 同上
▲田中廣吉氏（總督府視學官） 往復三週間の豫定を以て柴田學務局長と同行東京へ赴くべし
▲渡邊爲吉氏（山林課技手） 往復三日間の豫定を以て京畿道楊州郡へ出張を命ぜらる
▲柴田學務局長 主管事務に關し拓殖局竝に文部省と打合せの必要あり十八日午後七時二十分京城發東京へ向け出發往復三週間の豫定なりと
▲横山眞樋氏（平壤銀行頭取） 月初平壤に赴任し直に引返し四月歸鮮の豫定
▲高山徹氏（農商務省囑託） 二十二日來城地方改良其他に關する講演をなすべし
▲足立潮二郎氏（元十八銀行京城支店長） 二十一日京城發途往の筈なるが目下朝鮮ホテルに滯在中
▲千葉京畿道第三部長 西鮮方面旅行視察中なりしところ十七日歸任

○軍司令官招宴 宇都宮司令官は十七日夜入城の前中華民國大總統黎元洪氏令息及び張之洞氏令息の爲め十八日官邸に於て午餐會を開き各自胸襟を開き歡談に時を移し散會したるが右兩氏は今回學習院に入學すべく十八日夜七時二十分發東上せり

重要電報 欄外にあり

寸塵

▲後藤男が白耳義に着くや宮廷から安達公使を通じて男の滯在日數を問合せて來たので四日の後出立の豫定である旨返奏すると『然らば明後日の午後四時に夏の離宮迄出頭せられたい』との通知があつた▲然るに白帝には當時英國に在らせられた皇太子殿下が御歸着であるとの報に接せられた爲め其の翌日急遽飛行機で英國に向はせられたが約束の日時迄に御歸りの程は六ケ敷からうと案じながら兎も角も安達公使と共に拜謁の爲め離宮に赴いた▲所謂夏の離宮は恰も我新宿御苑の六五倍もあるさうなが後藤男は安達公使と共に苑內を逍遙し散步して居ると遽て響を立て一臺の飛行機が遙に城の傍へ舞下りた▲すると間もなく舍人が後藤男等を迎ひに來て『陛下には只今英國から御歸還に相成りました』とて自働車で宮殿に導いた其時白帝は既に飛行機用の鍔帽子を脫がせられ『約束の時間を違へて待たせたのは甚だ遺憾だ』と仰られた▲併し後藤男は恭しく『今日の平和を齎した事は全く陛下の當時の英斷に因ると考へます』と奏上すると陛下には『當時閣臣にも種々相談したが彼の途を選ぶの外はなかつた』と仰せられ侍從に御手近の抽斗から勳章を取出されて『之を掛けて見よ』…白耳義國民の光榮とする所だ』とて後藤男の胸の邊へ掛けさせられたと

革命干與者特赦要求

…政府はカップ博士との交涉を斷絶せり

別報

エベルト政府はスタッツガルトに於て會議を開きつゝありしがフォン、カッツ…

經濟界恐慌來
形勢と將來

…勢を現はし人心不安を感じ居る折柄十六日午前日本銀行を訪問し井上總裁及び各理事と二時間に亘り…

……にける灘五郷の清酒總出高は……し而して二月一日現在の清酒額は合計新酒一千三百四十石古酒一……合計新酒七萬一千六百十八石差九千八百七十五石即ち新古酒……古酒二萬八千八百九十三石にし……加なり

石炭市場會社 福澤桃介、藤山雷太、加島安太郎、川崎……

鐵相場の下落 天井知らずの突飛の相場を出せる鐵相場は其後落付き氣配を示し賣買……を見るべき模樣也

寫眞機の需用 近年都鄙共に一般寫眞趣味の流行に伴……上の舶來品輸入ある外殆ど米國品のみなるに價格は戰前に比し二倍以上の騰貴を示せるに輸入は益々……

フイルム社企畫 當地松井……山川吉太郎氏等の發起にて資本金一千萬圓の內外フイルム……する筈……して株式は……り公募をなさざる筈にて設立の上は大阪千日前土地會社と合併……

……る官民四十餘名を十五日午後六時より市內芳千閣に招き盛宴を張る一同着席するや佐藤所長の……

卒業生就職斡旋 ……晋州道公州公立農業學校本年度卒業生は約三十五名にして中に……

安東…… ……尋常高等小學校第十回卒業式を來る二十三日午前十時より擧行する由(安東縣)

融和よりは寧ろ同化
在京鮮人學生を後樂園に招待

東京市中で最も鮮人學生の多く居住して居る西神田の加々尾署長は鮮人學生の近況に付き語つて曰く

管內には約二百人の鮮人學生が居る一人帝國大學に通學して居る其他は凡て私立學校で明治法政正則學校が多數を占めて居る鮮人學生は吉凶共に

西小川町の 青年會館に集合して相談をするが學生の間にも學生總會、學友會なる團體が組織せられて居る集會は月に二三度やる凡て學術演說だが時々脫線して政治問題に觸れるので困るだから司會者には充分注意を與へるがさうも鮮人は兎角學術演說をやつて居るのに司會者は警察から監視せられて居るとか買收せられて居るとか言ふ語を誰か一人洩らすものがあると怒ら激越なる

政談演說と なるそこで止むを得ず注意を與へると誠に惡るかつたと好く理解するが又直忘れるので困る此の氣性は鮮人に親むに充分心得て居る必要がある併し親切にするとまるで子が親を慕ふ樣に親しんで色々の問題を包み隱さず相談にくる樣になる例へば職業を見付けてくれとかなるべく勞力を要せずして勉强の出來る餘裕のある事務員になりたいとか隨分

勝手氣儘の 注文を持込んで來るが接して好く聞いて居ると何となく可愛らしくなるので出來るだけは盡力して居る要するに親切懇愛を以て接すると實に可愛らしくて自分の子供にても對する樣な氣分となる今度管內の實業團體が發企で鮮人を小石川の後樂園に招待して一日の清遊をなすと云ふ事であるが實に好い企てヽ私は衷心から賛成して居る支那人でも同じ事であるが

鮮人は一層 此方から親切にすると融合といふよりは寧ろ同化の可能性を持つて居ると斷言して憚らない(東京支局)

事業界の惡化
大阪支局　一記者

最近事業界の形勢は整理時代に入れるにも拘らず戰後反動來の運觀と政府當局の財界に對する施設の異角

樂觀に流れ 彼の大膨脹して底止する處なき通貨も收縮の界に出でず物價調節の如き自然の趨勢として運用昂騰率を改めず且つ法人所得の課稅增率案が今期議會解散により頓挫せしとは云へ各事業會社は配當率の增加よりも寧ろ增資擴張の方針に傾きつゝあり一方住宅難の聲を迎合すべく無數の土地建物會社の企畫勃興の結果に徒らに都鄙を通じて地價の昂騰を促進せり、燃料石炭の

需給不圓滑 を醫すべく炭礦會社の頻出目醒ましくして事業企畫は再び戰時中の活況を呈現せんとしつゝあるに然も之等多數新設擴張會社中には堅實なる事實甚だ尠くして大部分は所謂會社屋の射利的目論見たるは頗る注目を要すべく現に土地會社の如き年初以來僅々二箇月を經過せる今日既に三十餘社の企畫を見るに至りしと雖も何れも會社人が會社に買込める

土地の差益 を占創立後贊成人株の特別割讓の名目下に額面以上の價格或は拂込支拂の手段として株式買出しをなせる等其の弊害は一層甚大なるものあるに徵し此際投資家の留意すべきは事業界の實情が表面の好況なるに伴はない其の計畫內容の著しく惡化せるに考慮を拂はざるべからざる事とす、他方個人方面の狀勢に就て見るも一月以降

歲末大決濟 の後を受け商品市價の値上がりと生產費の增嵩は均衡を保たず收支の不圓滑を招致し經營難に陷りつゝありて不渡手形取引解除の漸增に金融業者は依然警戒態度を改めず然して最近調査に係る二月中に於ける企業資本額は十一億八千五百三十二萬四千圓を算し即ち前月に比し一億二千二百萬五千二百五十圓前年同期に比し九億八千十五萬四千圓を

何れも增加 せるの奇現象を呈現し本年一月以降の合資本金累計は二十二億四千八百六十四萬二千七百五十圓に達し次に解散狀況は社數三十二社資本金總額百五十萬九千九百五十圓此拂込額七十五萬九千九百五十圓を示せるは事業界も漸次惡化しつゝあるものと云はざる能はず

滿洲商銀增資
頗る有望

安東縣に本店を有する滿洲商業銀行は現在の資本金百四十萬圓を一千萬圓に增資する事は既に株主總會に於て確定議となりたるが專務取締役藤平泰一、取締役式村茂兩氏は其の增資の大部分を內地の資本家に仰ぐべく上京中なりしが內地に於ては有力なる資本家及有力銀行の後援と同情を得る事となり十二分の成果を收めて去十五日歸安したるを以て其の期日方法等に付來る二十一日重役會議を開き大體の方針を確定する筈なり目下安東又は滿洲地方に於ける金融逼迫の噂は非常にして此機會に於て增資を斷行する事は或ひは多少危險の伴なふものあるならんも前述の如く大部分を內地の資本家に仰ぐ事となりたる今日決して悲觀の材料を有せず當事者は寧ろ樂觀しつゝある增資株の總數は十七萬二千株にして內五萬六千株は舊株二萬八千株に對し一株に付二割として五萬六千株又一萬五千株は重役以下行員其他に對する功勞株とし殘り十萬一千株の內六萬株を內地の資本家に割宛三萬株內外を一般公募に附する事となるべし(安東縣)

倫敦より（五）
一月十一日　井上致也

◎紐育では紺布其他の薄い着物を用ゐ自然室內を暖むる必要があるが倫敦の人は概して下に厚着をするから其程に必要を感ぜぬことも一原因と存じ候米國は勞銀が高いからと云ふ點も有らうが極端に機械を使用し勞力を省くに汲々たる有樣なるが倫敦では其程迄とも見えず候

◎日本の資本家も昨今の勞働問題で內心多少危虞の念を抱き頻りに米國の自働機械に着目せる由に候が國家として喜ぶべきことか否か疑問に候

◎兎角衣食住の點に於て總て米國は英國より或意味に於て數段の進步を致し居り候之を譬ふれば米國に一代の分限者が金に飽かして宏莊なる洋館造りの邸宅に金銀を鏤めたる什器を飾り床に近代名家の大作を掛くるに對し英國は數代續いた素封家の茶室に雪舟探幽の軸物でも眺めて居る樣な感じが致し候物質文明に於て英國は少くも大戰期間丈は米國に遲れたりと云ふことを斷言するに憚らずと存じ候

◎米國は戰爭によりて益々國富の大を來し英國は國力を擧げて戰に傾注し他を顧みるの遑なかりしものと被存候未だ見ざる佛蘭西も略々察するに不難候世界に於ける物質的文明の中心は紐育に移り其後紐育は世界榮華の巷となり花と唱はれたるパリースは最早世界の榮華を誇ること能はずして槿花一朝の夢と相成可く候併し同國に取り敢て悲しむべき現象とも覺え申さず候

◎世界文明の中心が紐育に移るとせば之れにより受ける日本の將來の影響も勘からざるべく尤も米國の物質的文明にして問ふべきものも多々あるべしと雖も英國に學ぶべき點も不勘と存じ候會社問題の如きも今後米國は常に世界の中心として殊に紐育は絕えず困難なる問題の根源地となり新社會の建設も現社會の破壞も此所等から起りはせぬかと被存候

◎目下社會の大問題として各國を惱ましつゝある勞働問題の如きも矢張米國が中心で倫敦等でも新聞を見さへすれば「ストライキ」が有る樣に候へ共紐育の樣に騷々しくは無之候紐育ではストライキが始まると暫時に中折帽の先生が首から腹にかけ大きな揭示板をぶら下げ石炭のストライキやらとかスチールノストライキをやるとか電車のストライキやるとか果ては「ドラッイ」藥屋の事務員のストライキ洗濯屋のストライキと一もストライキ二もストライキで一般公衆の受ける不利不便は獨り之れが爲め促す物價の騰貴のみならず日常の交通生活にも支障を生ずるに至り苟かに勞資間の解決方法として「ストライキ」を止む得ざる手段として認容するに躊躇致し候自分としては他に適當の方法有之べしと確信致し居候

財界閑話

株式も期米も綿絲も十五日から十七日迄が底值であつたらしく十八日から出直り模樣となつた▲金融逼迫の聲は高いが實際梗塞に近い點もある東京の標準金利は三錢から三錢一厘を唱へてゐる▲然し乍ら日本銀行の兌換券は十一億何千萬圓と云ふ發行高を示してゐる何の彼のと云つた所で民間に金はあるのだ▲金のある間は人間の性情として投機心—放資欲は去らない▲這回の暴落を好個の買場として巨資の動き出す事は自然である出直り模樣は怪しむを要せぬ▲唯此の出直りが暴落前の値まで伸びるか否かゞ問題だらう▲鮮人の京城に於ける銀行會社重役連は這回實業俱樂部を組織して廿九日に發會式を擧ぐるさうな▲時節柄妙な意味の會合にとられては困ると俱樂部の幹部は云つてゐる▲組織の目的は會員の懇親意見の交換名士の講演などを聞く事等で第一日には美濃部博士を聘するとか▲八九月頃ひらく京城商業會議所の品評會は好い企てだらう▲ある人は府廳に主催して貰つて會議所は協贊する位に留むると好いがとか云つてゐた▲然し府の主催となれば豫算がどうのかうのと中々八釜しくオイソレと行かぬ▲矢張り手輕に會議所でやるがよからう

◉……第二印象……◉（七）
一記者

芳林徹君

▲人氣を集中せる京城株式現物市場創立事務所の主任職を掌つてゐる、會社が創立されたら專務就任說もあれど怎うやら支配人らしい▲株も米も定期界には百戰を經て來つた勇者で何から何まで通じてゐる、五十格好の年配、髭を伸ばしたのをモヂャ／＼にしてゐる、モヂャ／＼にして置くなら一層刈つたらどんなものかと餘計な事を人に思はする▲口も筆も達者な男らしい、殊に口の方は人一倍と云ひたいが二倍も三倍も達者である、創立委員にも古城君の如き天日君の如き口から先に生れた連中も居るけれど芳林君の口には一目も二目も置いてゐる▲唯口喧しいとは云ふものゝ屁理窟は云はぬやうだ、筋の通つた事、物の分かつた事を徹底的に主張する人だと云ふ、然しその言葉とその表現の態度は少し猛烈すぎるやの所もなきに非ずらしい▲大いにのめる方ださうで、イヤその飮める事は面に出てゐるが時々盛んにやる、事務多忙のため先日夜を徹した、翌曉某旗亭に眠るべく大響をあけつゝ戶を叩き臨檢と間違へられた滑稽談を早くも、つてゐる

山林苗木　果樹苗木　野菜種子　草花種子　農具肥料
本年度定價表御請求次第進呈
朝鮮平壤　內田百花園

萬年ペン修理と販賣
京城本町　電話二五二七　振替二三〇
ウツボヤ書籍店

資本金參百萬圓
（明治三十八年設立）
當銀行ハ預金、貸金、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城府南大門通二丁目十四番地
株式會社　漢城銀行
長　男爵　李允用
專務取締役　韓〔……〕
支配人　張〔……〕
電話長六〇一、二〇一一　振替口座京城二一五
支店所在地　水原、平壤、大田、開城、南大門、釜山、東京、東大門
出張所所在地　東萊、平壤大和町、西大門

KAZEPIRIN
カゼピリン
熱　風
風引には
大學病院採用方劑
本舗　樂天堂製藥會社
朝鮮全道各藥店の特約店に販賣す

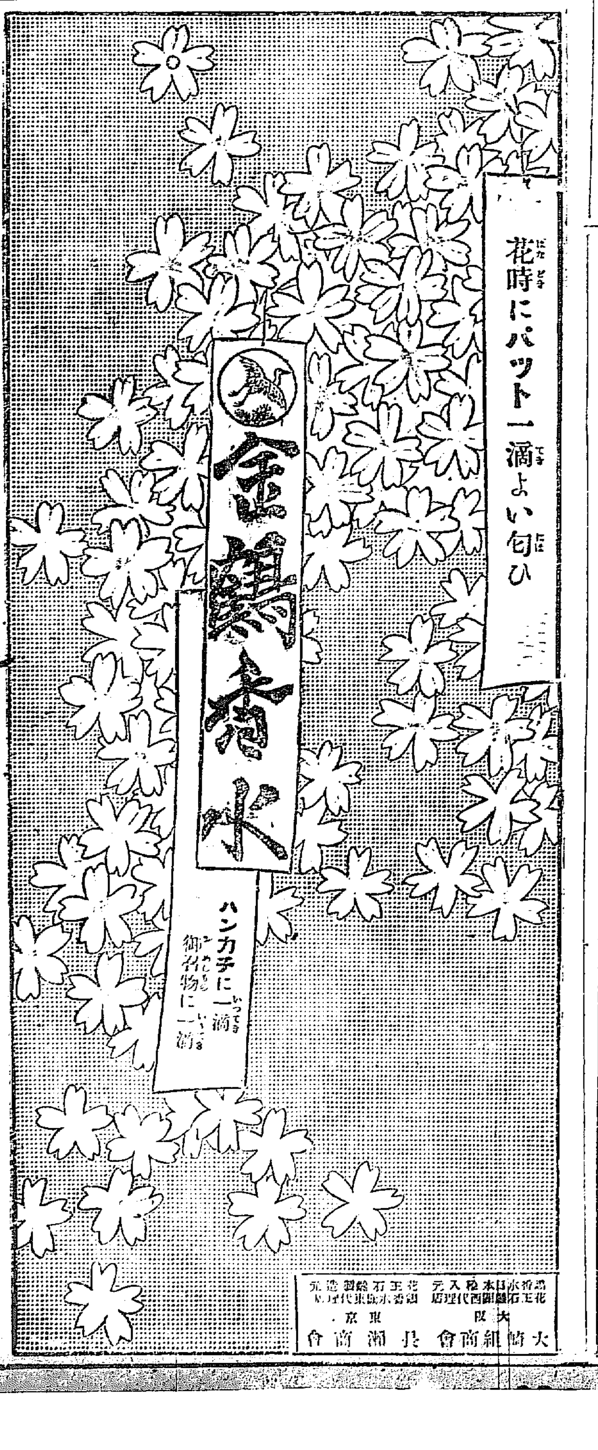
營業品目錄
罐詰、海產物、漆器、傘、針金、線香、鳥類、石油、乾物、酒、家具、金物、工物類、紙類、日鮮向、雜穀、荒物、土木用具、履物、綿類、陶磁器、油、蓆、塗料、文具類、洗濯石鹼、土管、茶、雨、砥石、セメント、コールタール
其他日鮮人向日用品一切
◎製品購買入
龍山〔社標〕組代理店
仁川新町　津田兄弟屋本店　長距離電話七六二番　振替京城三八九番
京城明治町二丁目　津田兄弟屋支店　電話一〇四〇番　振替京城三一八一番
黃海道兼二浦　津田兄弟屋出張店

鎭靜催眠劑
カルモチン
神經衰弱、不眠症特効
本劑は、現今斯種藥劑中副作用なく効力優秀なるものとして最も廣く處方せらるゝものにして殊に神經衰弱、ヒステリー等に投與して毫も消化器を障害せず又臭素中毒を起さず、又神經性中等度不眠に頓用して自然的睡眠を與へ精神心身の爽快を感ぜしむ、其他癲癇、肺結核患者の咳嗽、小兒夜驚症、頭痛、船醉車醉の豫防等に奏効す。
（文獻）醫學博士山田熊藏氏　醫學博士〔illegible〕氏　醫學士〔illegible〕氏　醫學博士〔illegible〕氏　醫學士佐藤〔illegible〕一氏　の實驗せられたる臨床報告別册あり御一報次第郵呈す。
發賣元　大阪市東區道修町　武田長兵衞商店

東洋捕鯨株式會社特約店
鯨　各種着荷
特約販賣希望の御方には特に勉强仕候
鯨問屋　香月商店
京城明治町二ノ四八　電話一九五三番　振替京城四八四六番

土地建物入札賣却廣告
一、京城府明治町貳丁目五拾壹番地（十字街北角）
一、同　地坪參百八拾五坪
一、同地上建物八棟百五拾六坪餘
入札場所　當社
入札期日　大正九年參月廿貳日自午前九時至午後壹時
開札日時　同日午後貳時
入札保證金　入札金額ノ拾分ノ壹以上
右入札賣却ニ附ス
但入札ニ關スル規定書ハ當社ニアリ御照覽相成度候
大正九年三月十九日
明治町貳丁目二十九番地　東亞商事社　電話長一〇七八

痔疾專門
京城久枝肛門病院
京城明治町二丁目（本町より入る中央）　電話二一〇二番



事實は何よりも雄辯です
帝國陸海軍　帝國醫科大學　赤十字病院　慈惠病院　鐵道院　各府縣立病院
多年の御用は
品質本位
花王石鹸の眞價に對する完全なる裏書です

殘忍なる殺人鬼！

人肉を片つ端より嚙り耳朶の一端をも喰ふ

鷄飼巡査殉職に殪る

慶北淸道郡邑内より約一里餘を距りたる

華岳山々腹 に去る十五日未明四名の殺人鬼現はれ慘劇を演じたるが之が詳細に就て聞くに同日午前二時頃華岳山腹なる淸道郡華陽面東川洞の溪谷にある薪屯寺の庫裡の戶を訪るゝものあるより住職李永讃（三五）は何者ならんと戶を開けば闇の中に佇める四名の者が此の山中に迷ひ途方に暮れたれば

一夜の宿を 賴むと云へるにより住職は寺男部屋に案じ寢に就かしめたるにやがて四名は熟睡せる寺男金玄波（七〇）に隣室に臥し居たる老婆姜善撫華（）及び寄僧朴法信は驚き起き耳朶の一端を食したるより玄波は悲鳴をあげて逃げ出す物音に上がりたる時四名の兇漢は電光石火前方より

襲來せんと するを認めたれば前記住職と共に一同は山道傳ひに逃げ出し敵に裏戶より山道傳ひに逃げ出したるも姜は老人のこととて逃げ途を失ひ遂に兇漢の爲に無慘の最後を遂たり此の報に接したる淸道署にては署長以下署員を檢川、院洞、淸道の各三班に分ち華岳山を包圍して兇行現場に急ぎたり然るに淸道方面よりの一隊は最先に現場に到達したれば

鷄飼巡査は 兇行後休憩せる兇漢を縛せんと機を見て薪屯寺の庫裡なる濕突に飛び込みたるに兇漢はすかさず同巡査に躍りかゝり手にせる大槌にて同巡査の頭部を打ち人事不省に陷るを見て更に庭石の上にて殆んど形なきまで滅多打滅多斬りにし凱歌を擧げ居たるを吉川警部補は

取押さへん とするも却つて兇漢等に一蹴をうけたれば止むなく硝藥の中に隱れ居たり斯する裡に他の二班は洞民を召集し一隊となりて現場に押寄したるを見たる兇漢は屋上に登りて瓦を投げ或は石油を注ぎて同寺を半燒し尚ほ什器は悉く粉碎して四散し阿修羅の狀を呈し狂ひに狂ふ兇漢は官憲と

暫時格鬪を 續けしも脫兎の如く山中に姿を沒したりかくする中に夜は明け包圍隊は在郷軍人、消防組を加へて多數にて兇漢の行方を捜査中又も兇漢は華岳山麓なる大城面際洞に現はれたりとの情報ありたれば一隊は時を移さず同方面に赴く途中同洞居住の池道伊（六〇）及び草鞋職人金某（年齡不詳）の死體を溪谷に發見せるが

這は兇漢が 薪屯寺附近の山中に姿を隱して後演ぜられしものなるべく兇漢が怪力にて投げたりと思はしき約廿五貫目位の石には鮮血淋漓として滴り尚ほ慘虐にも屍體の胸部には大磐石にて壓し肋骨は全部挫折せるを見ても如何に兇漢の獰忍なるかを窺ふに足るものなりして午前七時頃大城面際洞の蘭川寺に包圍隊の着せし時

兇漢四名は 悠々蘭川寺の庫裡にて食事をなし居れば之れを遠巻きして肉迫したるに又も兇漢は死物狂ひに暴れ同寺住職賓普應（一〇）の不在に乘じ寺の什器を投げ出し又も石油を注ぎて放火なさんと企てたれば勢を得たる包圍隊は午前十時頃迄格鬪を續け漸くにして取押へたるも兇漢三名は重傷を負ひ

遂に絶命し 殘る一名も重傷のまゝ抵抗を試みたらが手錠を箝め本署に連行したり而し殘る兇漢一名も絶命したれば身分氏名等訊問し得ざれど取調べの結果淸道郡大城面上洞居住農民安德贊、安璽贊、安仁贊の親族なること判明したるも年齡は詳らかならず上洞は戶數八十餘戶ありて同洞には

吽哆敎信者 多く斯る慘劇を演ぜしは宗敎的迷信よりしたるものならんと因に殉職せる巡査鷄飼巖一氏の遺骸は曹洞宗淸道布敎所に安置し土地官民多數に通夜され多大の同情を惹き居れり吉川警部補は重傷なれども生命には別條なかるべしと尚ほ大邱地方法院外間檢事は十六日午前現場に出張檢證せり（大邱）

家庭と社會

轉ばぬ先の杖（三）

天然痘に罹り度く思はぬ家庭に告ぐ

越川府衛生係主任談

元來痘瘡は天の配劑による人類の淘汰であるそこで人生は一度は必ず罹病せねばならぬ者であると云ふて相互に

患家に出入 を敢て意に思はなかつた殊に朝鮮などは別段豫防法もなく甚だ數に至りては此證の如きも屋內に近く數中に飲食を共にして敢て平氣にありし事例もあつた此に依ここ數日然も其室內の腥臭甚だ雖ミ流言蜚語をなす者あり夫は種痘を以て身體に痘液を注射して生命を奪ふ者なりとし極端なる者にありては警察官に暴行するものさへあつたのでありますが併合以來日に革る衞生上の効果を知るに至りて斯る頑迷の徒は減少し來たのであります又內地などでは昔は

疱瘡を恐れ て門を閉して外出せず呪ひ祈禱を以て是を撲滅せむことを謀り又は是を年に歸して年號を改元したることなどあつたのであります此の外迷信は非常に多いのでありますが茲に一つタマ／＼道理に接近して居るものがあります夫は赤紙に赤飯を盛り土瓶に供へたり或は赤の寢卷を著せたり赤の帽子を冠らせたり赤紙を門戶に張るなどの習慣がある是は明かに不思議にも赤色の光線が痘瘡病に一種特別の効能があることに暗合して居ります天然痘患者を

赤色の光線 に曝しむる時は皮膚の發疹が化膿することが鮮くなると云ふのであります其處で天然痘患者の病室には窓硝子窓掛等に赤色の物を使用して居る國があるのである國によつては種痘證明書に赤紙を用ゐて居る所あるが是れ丈けは全く無根據の迷信ではないのでもありますが其他は何れも取るに足るものはありません今や人工免疫法が發明せられ一大福音に接した以上はかゝる

誤謬的觀念 や祈念的時代より醒めなければならんのであります內地にありては明治十八年大政官布告第三十四號を以て種痘規則を制定したのであるが其後世の進運は舊法の改正を促し明治四十二年四月法律第三十五號を以て發布せられ四十三年一月一日より各人に對し種痘を强制するに至りたのであります歐洲各國に於てもこの法規の制定を見るに至りました斯樣に豫防上强制的に規定された法規は種痘を除く外他に無いのであるこれ豫防的確の効果を認めたからでありますそれでありますから往時吾人同胞先祖が此病毒により

幾多悲慘を 蒙りたる事を追想し種痘術發明以前の習に拘泥せず歡迎して接種を熱望する次第であります先般來京城府にありては天然痘流行の兆ありと見るや直ちに種痘の計畫を定め二月十五日より喜樂館、黃金館、浪花館、蓬萊町昭義學校、竹添町大和敎會、於義洞普通學校、鍾路三丁目金融組合、校洞普通學校、同德女學校、京城幼稚園、鍾路小學校、都染洞及び龍山の各方面に於て執行したのでありますが斯の間に於ける

接種人員は 僅に二萬を越さない有樣で當市總人口に比すれば極て少數の者であつたのは實に遺憾に堪へないのであります殘る幾十萬は未種痘者でありますから今回の流行狀況を述べて是等未種痘者の御反省を請ひたいのであります

獨逸の帝政復活

歷史の關係上當然の事だ

カイゼルの復辟は別問題

獨逸の帝政復活せりとの報に就き三潴信三博士は斯麼事を云つて居る『此れは能に有り得る事だ帝政復活は

獨逸廿有餘 の各大學の學生を始めこして一般知識階級の熱望する所で案外其根抵は深いものである現にヒ元帥の如き其他武將が戰場に於ける報告を讃ふに猶さんとしたる時の如き知識階級の一大示威運動に依つて此れを阻止したるが如き

社會黨政府 を呪咀する證據である又今回憲法を見るも正しく形式丈は變つたが其の內容に於て殊に法律一般役所並に裁判所等の制度組織に至つては殆ご改竄せる餘地を見ない要するに帝政復活に由つてカイゼルが出るこ否とは別問題こして永く

歷史の關係 上獨逸の組織に反對する國體は到底困難なる獨逸の統一發展を期するものであるこの見地より僭け復活を見るに至つたのではあるまいか』（東京）

硯物語（四）

八島柳堂

それから木硯の事に就て少し述べやう。木硯は支那に於ては既に

黃帝時代に 存したとも云はれて居るが是れとて信ずるには證左が不充分のやうに思はれる。而し今より二百年前の洛陽の儒士で三輪希賢執齋と云ふ人が書き遺したもの、中に次のやうな事が書いてある。原文のまゝを掲げて見やう。

木の硯古くよりあり。詩道克ある時水の側にて一つの浮拔を見て硯に製し形を魚に作れり。道家の符の中に入れ隱身して廿餘年に及びたるに忽にうせけり。なしき事かなと想ひてけるに其後夢中に人ありていふやう。吾しばらく湘水にあそび湘君の廟に至り侍れば二妃にして娥皇女英の君也……さいはひ湘君也强のおむすめ舜の妃にてせ給ふゆへに歸る事あたはず。但しさきの物ごも今は復還し奉るへし。水の際にいでゝ迎へ給へさき道支いぶかしながらその詰旦に水の側に行きて見れば四倉あみ引のこ罷を得たり。すなはち買て家に歸り腹を割て見れば先に失し硯も紙も其まゝにて有實に夢中にさきりぬ。其時俄に雷雨來りて其屋の上に五色の雲氣たち上りて魚は雲中に入にけり。怪しこいふもかぎりなし。其後人ありて湘君の廟に詣たりしにかの木硯二妃の像の御側に有りけり。神物さかゆうの靈異あるものなり。廟は黃陵廟なり

此話は一讀 恰もお伽噺的のものに似ては居るが木硯の由來から云ふと興味あるものである。是れによつて見れば或は黃帝時代にあつたかも知れぬ。次に同人は日本の木硯に就て斯う書いて居る。

播州印南部郡日笠山顧曾根高砂前の古松は傳へていふそのかみ菅相曾公の手づから植ゑ給ひしなりと異境遷土の人さへごも其藥たる事を知らざる者なし。況や詩客歌仙の好んで名迹を尋ね勝景を慕ふ者なや。しかるに世々の撰集家の私草にも其名なあらはしてこれを詠ぜる歌ある事を聞かず。又いぶかしからずや。これなして祠官の式部少輔菅原光繼の老年河野天祐、入江宗怡、彫山道休、本庄道鑑なご常に是なうれへ思ひてかの松の折たる枝、落たる葉…めて河野これをかの松の十が一の形に作りて此祠の沙汰せさせ給ふ桑珠院の宮良尚法親王に見せ奉りて願しかば宮げにもさおぼしめして時の歌仙たる中の院の大納言通躬卿にたのませ給ふ。卿もわが御同なもて末の世のためさせんここいかゞさ辭しおぼしめしつれごきりにしゐらせ給ひぬればやみがたくて記つくりておくらせ給ふ。社司、村老のよろこびいはんかたなし。されご猶詠歌のあらざる事を恨てひたすらに願ひてやます。折ふし宮かくれさせ給へばいひよるべきたよりもあらで十年ばかりは過ぎぬ。

卒業式

●京城醫學專門學校 來る三月二十四日午前十時より同校講堂に於て日本赤十字社朝鮮本部並に總督府醫院看護婦科生徒に對し卒業證書授與式を擧行▲工業專門學校 來る三月二十七日午後二時より同校第三回卒業式を擧行

合次2

▲新檢君の家寳樣は先月大連へ旅行した歸路の列車中で西洋人さ向合つて座を占めたが徒然なので西洋人さ心易くなり食堂も一緒と云ふ始末愈々汽車が南大門驛に著し下車した處が其西洋人が後より追ひ駈け來り喜蝶に向つて『アナタ旦那さんありますか』との問ひにありませんさ聞いて西洋人は常に喜び喜蝶と同行の湍香迄も指の寸法を紙撚にて測り何れアナタ方にエンゲージリングを贈りますから住所姓名を窃られて別れたが其後二十日經ても一ケ月過ぎても音沙汰ないのでサテは欺されたのかしらさは心細い事を當にしたものだ

●日銀兌換券 三月十六日の現在
發行高 一五〇、三六九、六二〇
正貨準備 五一、[illegible]三〇〇
保證發行 四九、〇八六、一三三

連絡船上陸客

[illegible]郎、平岡喜知、廣相寺貞彦、仙波直介、淸水佐助、道森吉藏、大崎平臨正、同富江、外八四名（二等）湯田さき、大牟田德次、高[illegible]貞淑、[illegible]、山田典三、米田[illegible]太郎、[illegible]、古川[illegible]、外[illegible]名、[illegible]五郞、早川[illegible]…

天氣豫報

[illegible]未だ其影響なかる可し明日は晴曇相半す可し

京日案內

▲申込後中途掲載中止は料金不返▲六回以上の申込は特に割引の事
番外 一回前金壹圓（四十字）
特別 一回七十錢 （二十字）

○事務員募集 希望者は本人直接面談あれ 本町一丁目 隈事務所 電話三六九

看護婦二名採用 見習 遇優 皮膚科佐藤醫院 京城明治町電話一一七三

玉突台附屬品全部附 格安に至急販賣 大和町二丁目十五 藤本商店

アカシヤ 經九分以上 寸迄約二萬本賣却す詳細は來談ありたし 龍山元町三ノ四 材木商 竹村久市 電話九五〇

電話掛採用 希望者は履歷書携帶本人來談 旭町二 商業興信所

簿記の心得ある者二名 小學校卒業生に限る 市內地人 二名を要す本人來談あれ 京城 白神洋行支店

◎店員入用 二十歲前後の内地人 但商業に經驗ある 身元保證 南大門外 齊藤商店

▲讓店 市內本町二丁目商店造作及電話譲り渡し （姓名在社）

店員數名入用 女事務員入用 カネ高株式店 電話一四二五番 京城黃金町

外交兼集金人募集 希望者は履歷書携帶午前中本人來談あれ但保證人を要す 南山町三丁目ノ一九 京城殖産會

電話ウリ物 但シ京城電話五參四番 御希望者ハ 四七番へ願マス

代診藥局生看護婦 至急入用希望者は本人來談の事 仁川宮町 松本病院

內勤社員 外勤員募集 （簿記係） 女子

鮮人給仕 有隣生命 京城黃金町二丁目 朝鮮支部

◎店員募集 十六歲より二十歲迄 京城本町二丁目 丸一吳服店

古本高價買入 破格 ▲御報知早速參上 ▲電話八六五番 本町二ノ三七 文光堂支店 本町二ノ五九 本店

年金恩給 長期低利 立替可致候 ▲京城永樂町二 祭日ヲ不問日曜 御西本願寺表門下角 江州屋本店

自家製織名仙絣 勸荷者（實用向德用品） 京城櫻井町一丁目 北越堂茶部

店員募集 十五歲以上 廿五歲迄 希望者は履歷書送附又は來談あれ 仁川 白神洋行

▲露・支語・夜學 四月六日開始 講師露支日人 詳細は學校へ問合あれ 善隣商業學校

ぜんそく たんせき 病者往復端書で照會あれ詳しく 播州明石川谷村 ◎ 富醫王山に新念靈藥あり 效能確實なる 奥樂寺 住職 市原

學生促進券集 私立 京城中等夜學校
修身、國語、漢文、英語、數學、地理、歷史、實業、法制、經濟
今回商業ノ一科目ヲ增加ス ◆入學志望者ハ至急申込ムベシ ◆四月五日授業開始 ◆京城大門內南

空前の割增附金 新券 七拾五回 組實特價提供
壹萬圓 五當 同番 百廿圓
壹萬圓 千武當 同番 七拾圓
九千圓 三當 同番 卅六圓
六千圓 二通組 同番 廿參圓
百廿圓 ▽ 參千圓
（金附割等壹）
右二十三、四通組同時御買求特價提供…
子供用入金… 竹田商店債券部 大阪市南區西淸水町 電話南四三九〇五 振替大阪三四七

皮膚科 外科 花柳病科 エッキス線科 デアテルミー科 安部醫院 京城永樂町一丁目 電話四一九 安部修三

勿驚 當籤 貳萬七千圓 ▽七 當 六千圓 ▽拾 九千圓 ▽五 壹萬圓 ▽回 …
五月初回抽籤勸業債券 三宅商店債券部 大阪市北區曾根崎 振替口座大阪三九三〇五

洋種蜜蜂 豫約分讓 繁殖場產純良 蜜蜂販賣 朝鮮慶北達城郡… 白旗農場 養蜂部 …御照會次第明細書進送…

ネッスルミルクフード
卓越セル効果ハ日本ニ於テモ充分認メラレ、ソノ需要ハ益々增加シツ、アリ
小兒虛弱者及ビ老衰者用强壯營養物肺病患者之ヲ醫師諸氏ノ御推獎ヲ蒙レリ
左記申込書ヲ切抜キ住所氏名御記入ノ上送料包裝費トシテ郵券金十錢ヲ添ヘ御請求被下候ハヾ見本包一個御送付可申上候
住所 氏名
見本包御送付相成度候
ネッスル及アングロ、スヰス煉乳會社行
橫濱郵便局私書函第二〇四號
NESTLÉ'S MILK FOOD

新案特許 製繩機
實用新案
（他に二年五月新案特許 武製作所）
取扱品目 製造精米機 特約店急募
大阪市大正橋西詰 帝國農商社

資本金壹千萬圓
年賦又は定期償還方法に依る勸業資金貸出の外一般銀行業務並貯蓄預金の事務を取扱ひ候
株式會社 朝鮮殖産銀行 京城府南大門通一丁目
頭取 三島太郎
電話 長六〇一四番 營業振替貯金口座四〇九番 道金庫振替貯金口座特一〇參番
支店及出張所
（京畿道）仁川、水原、開城、（忠淸北道）淸州、忠州、（忠淸南道）公州…
右の外內地朝鮮滿洲支那各地に爲替取引先有之候

かぜを治しねつを解き 發汗 鎭痛の効力强大なる 蛇印（ジャシルシ）
安全第一のかぜねつ藥 アンチピリン丸
▣三大特長 最新高貴原藥を配伍す 絶對に副作用なし 胃に溶け易く効驗偉大
▣主効 ▣かぜ、ねつ ▣はやりかぜ ▣はしか ▣リウマチス ▣オコリ ▣頭痛其他熱病一切の諸症に卓効あり
藥價 十錢より壹圓迄各種
滿七歲以下のコドモのかぜ、ねつ、には小兒專門解熱新藥「オイン」に限る、
藥價 十錢、二十錢、三十錢
▲全國各藥店に取次す
本舖 大阪 東京 丹平商會藥房

原料香水 オリヂナル
交際の花と歌はれる御方々は必ず ハンカチに一滴 ネクタイに一滴 お召物に一滴づゝ
衞生口錠 カオール 本舖 東京 株式會社安藤井筒堂

當る十九日より三大映畫提供
松之助大努力劇 舊劇 雷風太郞 全四卷
沸くが如き大高評
七回 運命の指環 十三篇 十四篇
局面一轉!!戰恐すべき大活劇
愛國の熱情みなぎる熱烈たる大敎訓劇
軍神 廣瀨中佐 全八卷
江田島の學生時代より天暗くして浪怒る旅順港、壯絶悲絶の最後に至る迄感激骨に徹する千古不滅の英雄傳
◎每日夜一回開館
萬活直營 喜樂館 電話五九七番

藥菓子と水飴製
たんせき ぜんそく
美音滋養の良藥
▼藥價 二十錢 三十錢 五十錢 壹圓
▼發賣元 東京 大木合名會社

毒掃丸（どくそうぐわん）
くさくさ ごろごろ ぶんぷん ひりひり…
俗に四十八かさと稱する梅毒性諸病を退治す
山崎帝國堂大藥房

●鮮銀券日報　十七日の發行高
發行高　九三三、八五六、〇〇〇
同外發行　一四六、一八〇、〇〇〇
貸出高　五一〇、三七四、〇〇〇
尻左の如し

●有川少將招宴　大野軍參謀長は十七日夜有川少將以下飛行關係將校を長春館に招待し慰勞の盛宴を張れり

十七日朝入港高麗丸一二等船客　一等（二五名）岡部三郎、平川清風、戸澤民太郎、品川利正、松下彥士、同すさの、西崎鶴太郎、川上春太くみ、同ちゑ、福田連、同（馬島敏章）、千田一郎、都野正一、同ごみ、同はつ、松ケ下榮作、同孝利吉、三木かよ、石田ちせ、同一夫、河井鯉一、牧山傳一、守永勝三郎、端常太郎、岩間甲斐之助、同まき、同こし、同きよ、橋本廣吉、長尾用三郎、上田實太郎、田幸賢、島崎寬吉、松田てい、金島友次郎、同春、同まさ、久富吉同ひさの、同みさ、同靜雄、同隆雄、横田武甚、吉川治一郎、同ミし、杉浦蔵雄、同亮平、前田にふ同まつ、同さい、同よし、副島哲、同百太郎、筒井みさ、大野宗城八山省吾、富田鈴吉、同はる、白石俊二、山口こし、同正二郎、池田源次郎、大野重男、小林いね、松本貞一、三等（四八九名）
十七日夜入港對馬丸一二等船客　大森親一、米田誠一郎、同ちかの、同ふみ、西山昌作、同さみ、町田まつ、上野基三、山下武次、羽島三、吉川忠太郎、畠山源五郎、東原當次郎、根本永雄、田中純郎、木村かつ、中村豐一、茂木安

空界征服の勇者よ、さらば、
二機は大邱より、一機は京城より春光治き半嶋の天地を後に
雄姿碧雲を衝いて故國へ歸還
京龍の上空で見事な旋回

肌や、寒けれど風無く雲無く春光ゆるやかに流れて今日もまた稀に見る飛行日和なり。三月十八日！今日ぞ前後十日間全鮮の耳目を聳動したる空界の征服者が榮ある桂冠を頂き鴨緑八百哩雄姿雲を衝いて所澤に還るの日にして先發の二機は大邱より殿りの一機は汝矣島を發し三機交々半島の地を見捨て故山に向ふ壯なる哉！偉なる哉！

天候を驟る温かい春風は汝矣島の天地を罩めて連日の奔命に疲れた人々の面にも新しい一種の氣分が漂ふ。後部の野外格納庫ではソ式四八七號小型飛行機を組立て中なので緊張した槌の音が聞ゆ來る。其内に大邱から『煙霧深し』この報道が達したが少壯血氣な飛行將校等は『ナニ大丈夫、直き晴れる』と腕を撫して意氣軒昂、今日復航の途に上る北川中尉の面上には堅い決心の色が浮び總指揮官有川少將も決行の覺悟を洩らして居た。

北川中尉の試驗飛行

九時三十分に至るやサ式五三六二號は格納庫から曳出され銀翼旭日に輝かせて勇姿を現はす。少時搭乘者北川中尉の手に依つて機は精密に點檢せられたが約二十分間位の試驗飛行の要あり、この事で機は場の中央に運ばれて九時五十八分凄まじい爆音を殘し東方鐵道橋方面に向つて離陸し人道橋を越ゑ漢江上流に沿うて溯つたが少時して機首を左へ轉じ高度約千四五百米突で龍山京城の上空を飛び美事な右垂直旋回を二回試み場の周圍を一周し約十五分間の試驗飛行を終へて着陸した。此時大邱から難波中尉加藤少尉の出發公報が到達したので機體の故障は修理出來た。機にも異狀はない。先發二機は既に發した、試驗飛行を恙なく終つた北川中尉が偉大なる體軀を飛行服に包んで一碗の茶を啜つて休息する間もなく有川總指揮官よりの出發命令は下つた。サ式五三六二號は再び場の中央に運ばれ北川中尉は水野總監、淨法寺、兒島、大野諸將軍と堅い握手を交して勇ましく搭乘十時五十五分東方に向つて鮮かな滑走、忽ちフワリと離陸して低く鐵道橋を越ゆ直に上舵で高く千米突以上に飛騰する。左折して龍山京城の高空に訣別訪問を爲し機の制調を驗べながら汝矣嶋の上空に歸り『出發せよ』の信號を受けると賓室の眞上に敬意を表せんとて出發の意味深きS字形の飛行をして高度一千五百米突、一直線に永登浦方面に機を進めた。空一片の浮雲なく長く尾を曳く紫の煙！故國に還る勇士に幸あれ！帽を振るあり拍手するあり少時場內に喝采を爲したが機は次第に小さく〳〵約二十分間の後遂に肉眼に見はずなつた

北川中尉出發
S字形飛行に告別の敬意を表し碧空を衝いて南へ

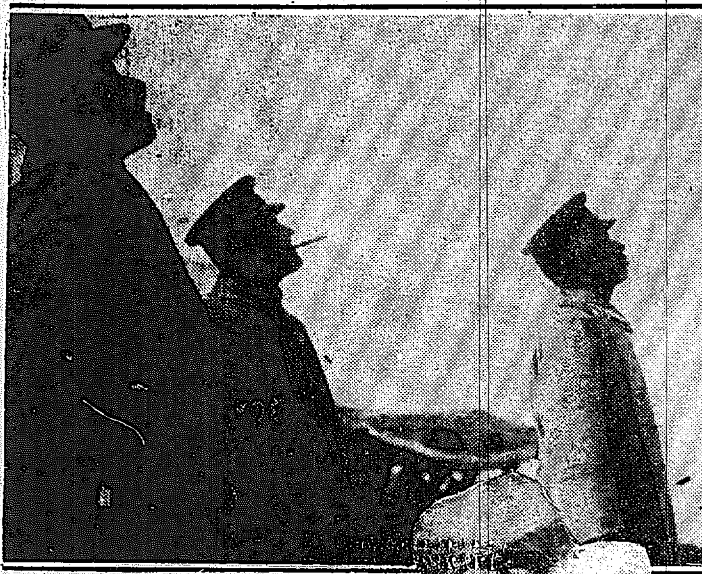
歸還飛行
最終日の汝矣島

歸還飛行最終出發日の十八日は見物も聊かダレ氣味で絶好の飛行日和にも人出は極めて尠かつたが職務に忠實な兵士や警官の警戒は連日と異る事なく飛機關係の人々は早朝から埋の如くに寄集つて格納庫附近や貴賓席方面は相當の賑はひを呈して居る

水野政務總監も來場
大持の飛行將校

午前八時淨法寺師團長が吉澤副官を隨へて第一着に自動車で乘附ると八時半には勝野副官を隨へた兒島中將が馬車で乘込む。大野軍參謀長、神村軍一級參謀其他陸軍の將校達が續々來場する。九時には初めて飛行場に顏見せをする水野政務總監が霜除りの外套、鼠色の中折帽と云ふ平民的な姿で有川少將や伊藤秘書官と同乘自動車を乘附ける、伊庭、阪口、森、和田、北川等の飛行將校は彼處此處に大持てで場內は時經つに從ひ次第〳〵に活氣附いて爽快な氣が隨所に溢る

意氣軒昂たる少壯將校



汝矣島にて　（上圖）向つて左より政務總監、小兒中將、淨法寺師團長　（下圖）地圖を按ずる（向つて右）北川中尉、（同左）和田中尉

五萬圓の金募集に
平岡女史來城

鮮軍大佐未亡人平岡喜知子女史は十六日朝下關著關釜連絡船にて京城に向ひたるが山陽ホテルに休憩中往訪の記者に對して語る『私共行志は東京に新設すべき託兒所と女學生寄宿舍の創設費に充てる爲五萬圓の金を募集すべく京城から奉天、北京、青島、上海を經て臺灣に參る筈ですが臺灣では田總督御夫婦にお目にかゝる約束です託兒所のお母さんは米國から歸朝された村山ソネ子女史にお願ひすることにしました私は各地を廻り皆の御後援を願ふ積りで同時に私は此事業に一生涯を獻げる積りです』云々（下關電報）

サ式京城訪問　（本社露臺にて撮影）

氣象日報　十八日

高氣壓の主部は本邦西部に去りたるも牛島は未だ高氣壓圏內にありて一般風勢弱く天氣好晴なり併して支那方面に低氣壓あれ

晴後曇　（自十八日午後六時至十九日午後六時）

氣温	攝氏	華氏
十八日正午	一二・二	五三・二
前日最低	零下一・三	二九・七

二機大邱發

十七日大邱に一泊せる歸還飛行のソ式十一號は十八日午前八時三十分大邱出發同二號は同九時發歸還の途に就けり（大邱特電）

釜山の上空を
二機靜かに東南へ

釜山地方は十八日朝來快晴にて暖く南の微風あるのみにて飛行には最も都合よき天候なり然れば所澤歸還飛行を待ち構へたる各學生一般市民は附近の高地其の他に出掛くるもの夥しく午前八時十五分ソ式一機大邱發の報ありしが九時十分に至り同機は洛東江方面に其影を現はし約二千五百米突の高度を保ちつゝ釜山の上空を通過東南玄界灘上に向つて機影を沒し去りたり尚ほ九時七分大邱發の報ありしソ式一機は鐵道線路に沿ひ南下洛東附近より線路を東南に轉じ蔚山郡方魚津の上空を通過し無事內地に向へるもの〻如し（釜山特電）

難波中尉廣島に着陸す
約一時間で朝鮮海峽突破

十八日午前八時三十分大邱飛行場を離陸したる難波中尉操縱のソ式十一號は朝鮮海峽を約一時間にて突破し午前十一時四十分廣島練兵場に着陸したり（十八日廣島特電）

和田中尉快翔
宙返り横辷り等を演ず　汝矣島の高等飛行

一昨日組立中なりしソ式第三型四八七號は十八日午前中に組立を完了し和田中尉機體點險の上一時二十五分場の中央より東方に向つて離陸約千三百の高度にて場の上空を快翔し得意の高等飛行を試みたるが宙返り横辷り旋回等思はず觀衆をして快哉を絶叫せしめたり約十五分快翔の後着陸なほ修理を要すべき微

暴行事件
小寺本間兩氏禁錮三箇月を求刑さる

衆議院議員小寺本間兩氏の暴行事件の第三回公判は東京地方裁判所に於て猪間田檢事より小寺本間兩氏共禁錮三箇月の求刑を爲せり（東京特電）

安邊中尉の京城飛行斷念
發動機に故障ありて機體を分解

細の個所あるを以て有完成の上新に計畫を廻らし更に總督府側の希望を容るべし

安邊中尉のサ式は發動機に故障あり京城飛行を斷然中止する旨玉置中佐より十七日夜所澤に打電せり（廣島電報）

油槽に大穴

安邊中尉は機體分解の結果ガソリン油槽に直徑二寸大の大穴あるを發見し飛行中止の已む無きに至れり（廣島電報）

此の次ぎは內地臺灣間の大飛行
所澤京城間に成功した田中小關兩中尉の談

大飛行往航に成功したる田中小關兩中尉は十六日朝下關著關釜連絡船より上陸直ちに山陽線列車にて歸東したるが兩中尉は下關驛頭に於て交々語る『危險視されて居た玄界洋上の飛行は割合に容易であつたが何しろソ式と云ひサ式と云ひ何れも二千百米突の高度で進むので殊に玄界洋上は雲が飛行機よりも約五百米突も下にあり是が爲め時々降下しては目標を定めた位である尤も是れが斷雲ならまだ宜いが厚い雲が一面に展つて居たので始末に終へなかつた、內地朝鮮間の飛行に成功したから今度は內地臺灣間の長距離飛行を行る考へであるが此の大飛行を行るには持久力が不足の憾である併し朝鮮滿洲支那を經て臺灣に飛行するのであつたならば今日でも飛び得るものと確信して居る』云々（下關電報）

各務ヶ原で飛行機墜落
土屋軍曹負傷す

各務原航空第二大隊附土屋軍曹は十七日午前七時二十分モ式二に附けたる百三十六號百馬力にて練習中操縱索の切斷せるより百米突以上の上空より墜落し機體は大破せるも軍曹は擦過傷を負ひたるのみにて病院に昇ぎ込みたるが全快迄三週間を要すべしと（各務原電報）

驅逐艦出動
海上警備の爲

陸軍大飛行に就き海上警備の爲め海軍側より派遣の驅逐艦春風初春の二隻は十七日午後七時半釜山に入港假泊し十八日午前五時二十分兩艦共警備の區所に就くべく港外に出動せり（釜山特電）

強盜の卵
悪いと悟つて自首し出づ

住所不定劉仁相（三）は二月十日出獄後所々を徘徊中二月二十八日午前十一時頃黄金町一丁目に於て鮮人某が韓一銀行より下関を請取居るを目撃し之を強奪せんと鍾路一丁目道路迄追跡したるも遂に目的を遂せざりしが自分の心の淺猿なるを悟りてか右の次第を本町署に自首し出でたれば同署にては取調べの末十六日檢事局に送る

火藥の大爆發
死傷者十數名を出す
吳海軍工廠
吉浦試驗所の大椿事

十七日午後二時十七分吳海軍工廠吉浦火藥試驗所火藥粉碎室より突然一大爆音と共に黑煙天に渦まき上りたりと見る間に爆音頻發し猛火は遂に同廠の裏山に燃移り危險の度を增し近寄る能はず各艦は危險信號を揭げ警戒に努めたり中野工廠長は同三十分係員を隨へ現場に出張せしに即死八重傷六名を發見せるが爆發原因は徳山港外にて爆沈せし河內より引揚げたる火藥を一應乾燥し粉碎したる上更に同艦の艦艇爆破に用ふべき火藥製造中に起りしものにて目下取調中なり右に就き同試驗所長北村海軍大佐は進退伺ひを差出せりと（吳電報）

商業學校生徒
入亂れて大格鬪
運動會の級競爭に敗れた三年生の暴行

富山市立商業學校三年生は昨年の秋季運動會に於て級競爭に二年生の爲め敗られたるを遺恨とし二年生に暴行を加へんとするの企てを爲しつゝありしが最近二年生を毆打すべく決議し是れを耳にせる二年生は大いに恐怖し卒業式當日を期し三年生全部は卒業式當日は一同登校せざる申合せを爲したり三年生は依つて更に豫定を變更し最終試驗日たる十三日毆打を決行することなり同日遂に二三兩年生入り亂れて大格鬪を演ずるに至れるより敎諭連は大いに驚き極力鎭撫に努めたるも尙ほ三年生中に約八十名は敎諭監視の下に歸宅したるが學校側にては暴行主謀者數名を斷然退學處分に附するこゝになるべく目下善後策講究中（富山電報）

電車專門の掏摸

府內樂園洞一九七李令福（二〇）は掏摸仲間の親分として巾を利かし主として南大門鍾路間電車中を仕事場所となし居りしが昨年陰十一月頃より趙炳哲（二三）を乾兒として盛に電車內を稼ぎ本年三月十一日午後八時頃南大門鍾路間電車內にて朴龍圭の外套ポケツトに手を突き込みたる處を同乘中の東大門署巡査の爲に取押へられたり同人の掏取たる金高は三四百圓に達し何れも新町某樓花子に注ぎ込み居り尙餘罪ある見込にて目下訊問中なりと

部民に施米
三氏の篤行

京畿道楊平郡古邑面西里李昌同郡築山面楊根里金元植同郡江水面洑月里沈信憲の三氏は部民中に生計に苦しみ糊口に窮する者少からざるに同情し這般李氏は粗三十七石を同里救濟會へ寄附したれば同會は貧困者七百二十六名に對し各人五升宛を分配し又金氏は粗四十石を面事務所に寄附沈氏は貧困者十戸に對し白米十石を分配施與し三氏の篤行に部民等感泣し居りと

講談倶樂部

面白く有益になる大評判の雜誌　都快諾講談紳士淑女大歡迎！

仁川大弓大會

來る二十一日（日曜）正午より仁川山手町三丁目芸昭商年會大弓場に於て臺朝聯合大弓競技大會を開催する筈なるが種目は一番勝、二輪的三ツ的團花的五星的六金的鋏子等にして何人も飛入勝手たりと

文廟春釋奠

來る本月二十日午前九時より府內崇三洞經學院に於て文廟春釋奠を舉行する筈

初午

來る二十五日は舊の初午に相當する日柄に依つて京城では新町の出上稲荷神社では料理屋組合と新町遊廓組合と發起になり午後一時より京城門相撲力士の花相撲を催し飛入勝手とするまた當日は賞品百點外におしるこ、おでん等の模擬店をもあしらひあれば當日は嘸かし賑ふことであらう

金谷安子

今朝九時九十分出發の際は御多忙中御見送を辱し誠に難有御禮申上候

工業專門學校
入學生への注意

工業專門學校にては此度附屬工業傳習所入學生に關する規則中の一部を改正し從來入學年齢十四歳以上なりし尋常小學校卒業生の資格に十二歳より入學を許可する事となれり尙入學願書受附期日は今月一杯とされど內地よりの入學者に一般入學者の便を計り試驗前日迄に學業證明及び履歷書を添附提出して差支なしと

府內の天然痘

府內大和町三ノ二六黑川明勢（三二）南山町三丁目劉井千秋（二四）黄金町二丁目正垣義夫（三三）は十六日天然痘にて何れも順化院へ收容せり

演藝

▲喜樂館　同館十九日よりの替り映畫は實寫『雷風太郎』全四卷、冒險奇談『新派悲劇中佐』全八卷なるが右の中『運命の指環』は上卷第七回に及び十三篇アラビヤへ急行十四篇比律に向へるカールスレクの活躍悪漢との大奮鬪、紫ダイヤが愈々の落附となる場面あり

紹介

▲實業公論　京城一流同業者の目的に依りて昨年九月創立せる京城工株式會社は開業日淺きにも拘らず頗る盛況に向ひつゝあり近く工場を擴張すべしと

近來は氣象も穩當で大野軍參謀長が『上手になつた一日飛行機が出來た以上必ず目的地に達せねばならぬ▲機の故障にさへ注意をすれば充分安心して乘れる』『下は危々お乘りですか』『ウム一遍、二十分程乘つて見た切りだ』▲上村參謀は北川中尉の右垂直旋回を評して『飛行の極致と思つて居るやうなものだね、素人は宙返りを高く買ふが實戰には其必要は少ないので之がやれゝば立派な一人前の飛行機乘りサ巧い〳〵』と感に堪へぬ樣子▲水野總監は頻りに有川少將から飛行機の智識を傳授されて居た

朝鮮鮑 支那の日貨排斥で愈行詰る

＝内地に活路を求む＝

昨年中朝鮮鮑の生產力を聞くに約五十萬圓に達し其内三十萬圓は支那向ボイルド罐詰にして乾鮑は漸次需要減退せるも十萬圓位に上り其他生貝の儘市場に販出せるものなり、然るに昨年は支那に於ける日貨排斥の爲めに端なくも山東問題を惹起し爾來鮮支貿易不振の狀態となり水產製品乾魚貝類の製造を以て業とする幾百の當業者は全く萎縮して單に時期待ちの姿を示すが如きは實に遺憾の極みなりと云はざるべからず、故に此等の罐詰は內地及び鮮內に需要を求めつゝあれども鮑罐詰及び干鮑は依然として殘品多く罐詰の輸出高は僅に十萬圓に過ぎず現在內に於ける持越し品は二十萬千鮑も亦同率を示す故に產地に於ては生貝を販出せんとすれども鮮內の需要は僅少に止るを以て內地に移送せんとせば活貝の陸送困難なるに內地市場に送致する不能事なるも昨年實行せしは漸く南の蔭島鮑に過ず夫とて普通の船にて長崎に逆送せしのみ其後動機船にて阪神乃至下關方面に移送するもの出て現に宮野勘五郎氏は自己所有船にヤタ丨船を合し數隻を以て此の移送を企畫し目下準備中なりと云ふ其他對支貿易の反響は如斯種々に轉化せんとするの形勢を示しつゝあり(釜山)

露國避難民 續々北行す

襄に再世丸にて浦鹽より元山に上陸したる露國避難民の內六七十名は安東縣に下車し安東警務署の保護の下に各旅館に分宿して身の去就を決せんべく醵議中なりしが中には身の亡國の民たる事を忘れて其飲食店に押し上り酌婦を聘らしてゲイシャの微笑に顏の相恰を崩しるものさへありしが三四日前より非々北行して奉天又は大連方面に向ひ何か就職を求むべく出發しつゝありしが今や全部出發して一人の避難民もなきに至れり彼等は何れも懷中乏しく最も多くの所持金を有するものにても三百圓を下らざりしと云ふ(安東縣)

沿岸廻り(一)

釜山 一記者

◎丹な慶南の長生浦に捨て自動車で蔚山邑內に乘り込み先づ郡廳に好惡を挑つた正面に中郡守と池田庶務主任と卓を並べて郡心事務を執つて居られた交ふるに至つて兩氏交々應ぜられた何事に拘らず赤裸々に語し間歇の折相を叩ふ事が出來たのを喜ぶ、其內主なる問題は方魚津の築港次ぎに極道問題であつた

◎夫れから郡經の加藤署長を訪問した問題は矢張郡廳と同じであつたが方魚津の鯖網組合に就て氏は熱心に說明した組合の性質と今後の方針を具體的に陳べて最後に批判を求められたのには流石の我輩も面喰つた然し其鹹漁に對しても幾分の意見を陳べなければ濟まない樣な氣がして遂に『即ち今後該組合が有益に利用し永久に持續するに於ては百難百折は覺悟せなければならぬが其當事者の執るべき道は要するに赤心的の外はない何事に依らず誠意を以て處するに於ては如何なる障碍をも摩破し得るであらうと思ふ猶一歩進めて該組合をして不正漁業者の取締を當局と相俟つて斷行するを得ば偉大なる效果を見るべきであらう』と

◎そして直く辭して方魚津の現狀を觀察すべく蔚山方魚津間の新道路を自動車で急いだ、道は先日來の降雨で所々破損して居る險な處もある『此道路は方魚津小學校落成式の間に合はす爲め工事を急いだものです』と運轉手が說明を加へた其一言がどうも不滿に堪へなかつた、なぜそんな事で大事な道路の竣工を急いだのであらうか夫れでなくても朝鮮の道路は一體に破壞し易い地質であるのに如斯周到を欠ぐ樣では現在の蔚山郡として大なる缺點でなからうか、然し又一面を考へて見ると道路の出來上つた狀態が如何にも經濟節減の根跡があり／＼と想像されるに至つて又氣の毒にも感じた

◎自動車は漸く方魚津に著いた、丁度春鯖の初漁があつたので昨秋以來始めて愁眉を開いた漁業者は本年は豐漁の兆し無しと喜んで居る、恐へば貧にもならぬパンを求めんとする漁業者の運命は實に泡沫の樣なものである

大阪便り

合して二萬一千二百二十三石にて即ち總計十萬五百十一石にして古酒の貯藏高[illegible]十四石[illegible]前年同期に比し新酒五萬六千[illegible]千八百五十[illegible]

[illegible]

忠南道主催の 內地農業視察團

忠南道にては三月七日道廳內に內地人地主協議會を開催したるが其席上優良鮮人小作人其他に對する保護及び獎勵の一方法として內地又は先進地の農事狀況其他を視察せしむるは地方農事開發上頗る機宜に適したる方法なりとし觀光團を組織し三月下旬より福岡方面に於て開催せらるべき工業博覽會の觀覽を兼ね福岡佐賀長崎熊本縣等の農事を視察する事に決したるが出發は四月十日往復十日間の豫定なるが既に江景國武農場よりは十五名の團員申込ありたりと(大田)

慶南清酒品評會

慶南の清酒品評會は去る十一二の兩日馬山に於て開催十三日褒與式を擧行せるが受賞者は左の如し(馬山)

▲優等 富大鶴正宗(馬山)永武福次郎、同翁正宗(同)同大正櫻(同)合資會社清水醸造場、同金鶴(同)定金由喜太

▲一等 御代の春(馬山)永武福次郎、同鶴生(同)遠藤媒吉、同鶴林(同)西田本樹市、同大典正宗(同)石橋市太郎、同突牡丹(釜山)原田富吉、同チェリー正宗(同)山內兼平、同瑞泉(同)原田竹次郎

▲二等 平正宗(馬山)平井寬錄、同大正櫻イの二(同)合資會社清水醸造場、同佐賀錦(釜山)竹鵜雅二、同朝日(馬山)五反田富太郎、同初夢(同)藤田親雄、同鶴雛正宗、釜山丸金酒造株式會社、上機嫌(馬山)江酒田村虎次、同翠正宗イ(釜山)淺株式會社、同花盛(馬山)東久男、同野風(同)岡田玉吉、同西山正宗(釜山)西山徳三郎、同松泉(馬山)松井次太郎、同八重櫻(釜山)安河內千吉

私等は何時も「春の樣だ」

露國の家族は氣掛り 日本海戰の思ひ出を露國の老船長は語る

勇敢なる露國汽船アストラハン(三六〇〇噸)號は十四日早朝ランチに乘りて本船を訪へばセコンドメートが心よくサローンに通じて葉巻を進める其の內

白頭老船長

カレリ氏(六三)は現はれて語る、今回は北海道から滿鐵のスレッパーを滿載して來ました、荷役は四五日間かゝりましたよ故國は革命騷ぎで食料其の他物資が缺乏して居る樣ですが本船は幸ひ三井物產會社からチャーターせられて居りますから何時も春の樣です、而し浦鹽に居る家族の所には四ケ月間參りませんですから氣になつてなりません。船長は記者にハルビン丸の寫眞を指して之れは御存じでしようがバルチック艦隊附屬病院船として の際活動した船です其の時自分は同船々長として

日本海々戰

の際活動した船です其の時自分は同船々長として海戰見物をやりました、其の時日本水雷艇乘込みの水兵五名が海中に漂ふて居るのを救助しました一人は半死の狀でしたがウエスキーを呑ませましたら元氣づいて私の手を握つて感謝しました云々 昨夜は領事のスコロドモフ氏も御見へになつたさうで徹宵痛宴したさうだ、何處に行つても露國風を發揮して居るとは(釜山)

鴨綠江の初航海

材木積載のため 來る二十日 天潮丸入港

鴨綠江は來る二十日頃の大潮時より非々解氷すべく全部の流氷を見るは三月二十八九日頃なるべし大連汽船の初航海は天潮丸(千三百噸)にして三月二十日入港し木材を積載して四月一日出帆大連青島に向ふべしと(安東縣)

棉作講話會

全南光州郡にては棉花栽培の獎勵を本年より一層徹底的に指導し以て優良の向上を促すべく三月十七日より十日間に亘り棉作講話會を郡內各所に於て開催すべし(光州)

大田郡酒會

大田郡にては來る四月十日頃論山に於て管內の內地酒鮮酒會を開會する筈(大田)

光州の櫻 花の盛りは四月十日頃

光州公園の櫻は此の二十日過ぎともならば蕾一入膨らむべく非今郊外散策に杖を曳く者多く花に醉ひ鳥に唄ふ行樂のシーズンも將に指折り數ふる間に迫れり花の盛りは多分四月十日頃ならんか(光州)

大公望 彼岸明から 仁川はもう鮒が釣れる

春景色

添ふ有樣は海も光日に豐かに漣に陽炎燃ゆる時節は早や水も溫みそう、郊外に人影増し公園の陽當りに閑人の散策を見る時既う野に土筆が萌し丘に蓮翹が蕾む、今年の暖かさはメキ／＼増して日曜毎に遊に閑長な漲碧に小波打つて居る、係う急に暖かくなると押へ切れないのは太公望の釣慾である、さらぬだに今年の春は豐漁ご噂へ聞くからには一日でも早く綸の用意なかるべからず早や手藥煉引いて待ち構へて居る向が多い仁川で此の春一番期待さる、

釣場は

云ふ迄もなく月尾島に通ずる突堤築造中の捨石の上で氣持の好いほど春水に時々多くの魚鱗を見せて居る一竿を投じ一綸を垂るれば忽ちに綸に滿つる程よく釣るに相違ないこは夢にも忘れ得ぬ釣自慢の連中の咄、されば

彼岸明

けの此の月末の日曜頃からは石の上には人垣を作る盛況が見られるに相違ないが鯛ら釣つてもなか／＼に釣り盡せぬは海の魚、況んや去年の盛漁季とも云ふべき秋に虎列拉の厄に會つて竿を空しくした爲に獲物の増ゆる事夥だしく惡くのメバル釣は恐らく豫想外の盛況を見るだけ獲物も多いだらうと想像される今の處今月の末から四月にかけては先づ

メバル

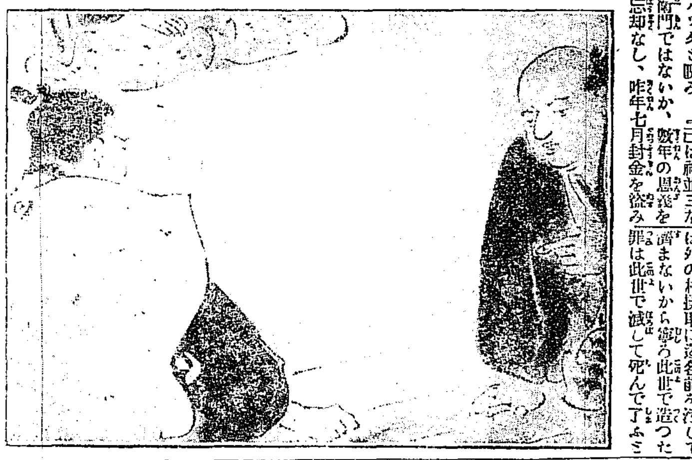
チヌ位が好く釣れるが花時を迎へ聽て青葉の出る頃ともなれば鯛の大漁は今から豫想され胡藤の花と共に鯛の豐漁も噂されて居る殊に魚價の減法高を唱へる昨今一日の漁に一籠を漁り盡せば之れ臺所向きの此上もない經濟晩餐爲に賑ふて酒あつて肴なしの嘆を發する仁川のメバル釣も春を待たる唯一の樂みであらう(仁川)

伊達騒動

第百七十七席 小金井芦洲講演

神並甲斐を罵る

堪まり兼て安藝が 安『コレ三左衛門、唯今御言葉下し置かれしは御係り阪倉內膳正樣なるぞ、直々御答へは恐れ多い御目付まで申上げろ 內『ア、コレ／＼、願人其心配には及ばん、直々答へに及べ、余が尋ねる事速かに答へを致せ 三『へーイ』內『其方詐人の事なれば、原田甲斐と應對に及べ 三『へーイ』と四邊をキョロ／＼見廻す、甲斐は最前より差俯向いて目を閉ぢて默しるたが、機先を制して見れんと、今三左衛門が何か云はんとせしを ハッタと睨み 甲『己は神並三左衛門ではないか、數年の恩義を忘却なし、昨年七月封金を盜み



黃金造りの大小其他手當の次第盜み取つて逐電に及び、諸方を徘徊なしたれども知れぬも道理、奧州迄まで彷徨ひ伊達安藝殿と我等ご平常情交宜しからざるを知つて安藝殿方へ馳せ込み、盜賊の名を免れんと能く／＼も虛言僞りを吐き居つたな、御膳々樣の御前憚りなるぞ、其木に作んで其木を枯らす、恩を蒙つて恩を知らざる人面獸心、獅子心中の蟲とは汝が事なり、今日に面會しては一言半句もあるべき理由なし、下郎退り居らう……』と致に荒く威猛高に怒鳴つた、穩くかと思ふと、平氣なもの蛙の面へ水と云ふか、動あつて頭を揚げ 三『オー御奉行さん、イヤサ、甲斐さん、言葉

して御座る、ナニ、數年の恩義は受けた 恩義と云ふ程の事は受けた覺は御座いませんよ、誰を打殺して來い、彼奴を叩き殺して了へ、首尾能くやれば、ヤレ五百石遣るの千石の加增のと口先で旨く人を操つて惡事を云ひ付けなすつたのは和郎だらう、ハイ／＼と云つて働いたのは私だ…實は惡事が嫌になつて恐ろしくて怖くなつた、逃げた處で人相書の御尋ね者、直に捕縛つて了ふ…今は腹めて居ても元は相撲取、相撲取と云ふ名に遁恨は無いから相撲取と云はれるは外の相撲取に迄名前が汚して濟まないから寧ろ此世で遣つた罪は此世で滅して死んで了ふと

ふ私の覺悟で逐り思をしました、和郎さんを詐入して私の罪を輕くして貰はうと云ふ吝な了簡やない、僞た丈けの事を申上げて和郎さんが磔刑なら私も磔刑、獄門なら獄門に成つて、罪滅しを爲たい考へだ、何を云はつしやる、私共は下郎の事、左のみの事はないが、和郎さんは八千石と云ふ大祿を頂いて山陰中納言樣以來ごやらからの御家の御家來とか、其御恩を云ふ者は何の位だか知れない、夫を忘れて了つて御分家の兵部樣同腹になつて六十餘萬石の御家を乘取らうと云ふのは實に不屆き至極、私が獅子心中の虫なら和郎さんは何ですへ……私が出たら突然けても駄目だから、恐

惡下郎の事ですから、雖ですけれども、善心に立返つて居るのですから顏面に現はれて、些少れ氣もなくドシ／＼と饒舌立てる、並居る人々折々抱腹絶倒のやうな所もあるが、一際目立つて見はるので甲斐は如何あらんと見ると唯下俯向いて一言の答へも仕ない、內膳正重知は 內『三左衛門、只今甲斐と應致したる事は相判つたが、一體如何なる手續きで伊達家へ出入を致した兵部少輔や甲斐と一味致したか、其の順序を申立てよ……』

◎蠶業組合事業 大田郡蠶業組合に於ける大正九年度の事業は下の通り前年來の繼續事業なるが蠶種製造は從來個人に委託し之が生產をなさしめたるも九年度より直接組合に於て製造をなす事に決したりと(大田)

◎高師生視察團 廣島高等師範學校生徒を以て成る滿鮮視察團は來る廿九日午前六時釜山より安東に來るべしとの內報ありたり(安東縣)

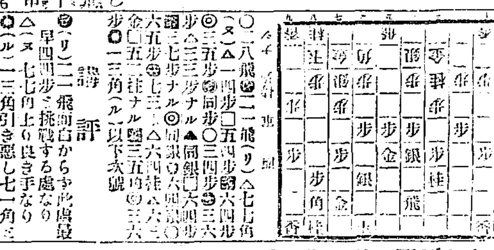
聯將棋(三)

於京城大和町木本倉二氏宅 足立瀧二郎氏送別將棋會席上

東軍(先) 西軍

手 ○足立瀧二郎氏 ◎諸岡木六段
△岡本佳二郎氏 ▲横山直樹氏
□町田長作氏 ◎木本倉二氏
◎井上直太郎氏 ◎有賀光豐氏

(圖は前號指了迄の局面)



○一八飛◎二一飛(リ)△七七角(ヌ)△一四歩□五四歩◎六四步◎三五步◎同步○三四步◎三六步△三三步ナル◎同銀▲同銀□六四步◎五七步⊕七三步ナル◎同銀□六四步金□五二桂ナル◎三五角○三六步○一三角(ル)以下次號

評

(リ)二一飛面白からず此處は早四四步と挑戰する處なり

(ヌ)七七角上り良き手なり

(ル)一三角引き惡し七一角と引く處なり

三月二十日

(舊)二月朔日 土曜日 ひのえさる 二黑 南 友引 ▲文廟釋奠祭

▼二黑▲總ての思慮を要する日
▼三碧▲心に不滿起るや知れずご誠實に事を爲さば凡て吉也
▼四綠▲心に鏡を抑すべき日也
▼五黃▲分外の望みを起さゞれば總ての事に調子好く行く日
▼六白▲兎角不合理に終る日也
▼七赤▲無理は通らず正しき事なれば總て骨折甲斐のある日也
▼八白▲荐く種は必ず生ゆべき日にて何ごなく實味のある日也
▼九紫▲或は床しき便りを得るやも知れず但し我儘は禁物なり
▼一白▲心持の因き日にて萬事に吉なれご我慾を張らば大凶也

捨て置かれぬ

ふとり過ぎ

身體を害めず程よくやせて中肉堅體の美容姿となる

男でも女でも隨分世の中には肥え太つた人がある。殊に年若き婦人は太つて居ると老けて見らるゝし、やれ『三角』だとか『豚』だとか惡口をいはれる、甚しきは病氣患者ではないかと疑はれ、知らぬ所へでも行くと立派な令孃も下女と間違へられる。自分では一生懸命お化粧もすれば着物も着飾るが太つて居てはその甲斐がない。のみならずよく惡口に云ふ家鴨が歩む樣な姿を持つた機に反て見られないと面白くなつて仕舞ふ。それが爲めに學問もあり御金もあり餘る程の財產家の令孃もお嫁にゆく事も出來ず、可惜花の時代の二十歲前後を徒らに過ごして容色は益々惡くなるばかり遂につまらぬ人の妻となつた例も澤山ある。婦人は矢張り背は細り柳腰の美人の方が幾何たが知れぬ、たとへ男子でも肥え過ぎて豚の樣では決して見よいものではない、それに第一太り過ぎた人は身體が强壯でない

井上醫學博士曰く

肥滿の人は心臟が障害せられて脈搏の不整頓に精神を發し熱病に對する抵抗力弱く殊に肺臟も脂肪の沈著せられ往々消化不良を發し肝臟は肥大し又時として頗る腦溢血に罹り易く脫力症、腦萎縮症、腎臟及泌尿病等を併發する事あり豫後不良(井上內科全書)

筒井醫學博士曰く

オベシタス即ち肥滿過ぎたる人は多く行動鈍く心臟衰弱、呼吸不利、心臟肥大、呼吸困難其他の種々の障碍あり心臟衰弱腦出血等を發し頓死する事あり(近世內科全書)

自分では何でもない樣に思つてゐるが此二博士の說を聞かば安心して居られぬ事が分るであらう、まして豚の樣なる人に笑はれてゐるのが嘆なつてそれを治して一日も早くスラリとした美しい身體になりたいと思はぬ人があらうか

◎堅體丸の發見 十年程前に本社に宛て一通の葉書が來た、差出人は慥しい女文字であつた「私事今年十八歲に相成り候へ共肥り過ぎて日々苦悶に堪へず他の若き方々に羨ましく存じをり候[illegible]」[illegible]

あつたので種々の藥なぞ試みたが思ふ樣な成績は得られぬ、殘念に思つてゐた矢先き此の優しき手紙を見て、本社も堅藥を研究し事してゐる以上此良藥を發明するいかさそれより熱心研究に着手した。ところが在來のやせ藥の多くは身體を害する惡作用が伴つたり、無害だと思へば少しも效力がなかつたりして、之を理想的にするには是非とも無害であり卓效でなくてはならぬ。本社研究室では此點に鑑み顯間の醫學博士及藥學士以下數名協力研究の結果、遂に理想的一大新劑『堅體丸』を創製するに至つたのである。堅體丸は最新藥學の學理を應用したる療劑にして、彼の無謀なる賣藥屋が誇大の言を弄して世人を欺くものとは違ひ、如何に見惡い程太つた人でも體質の如何に拘らず治る事を請合ひます。

◎堅體丸の効力 本劑は他の無責任なやせ藥と全く異り決して身體を害せずに細らせるといふのが大特長で、太つた人の體內にある有機性老廢物、其他(惡脂肪惡血酒性水氣等)を細胞組織より分解せしめ之を體外に排泄する作用があるから細胞組織は緻密となり、肉次第にシマリて堅々したる美しき中肉の體躯となる。又身體虛弱なる人は反つて前よりも强壯となる。

◎ニキビ出で脂肪しみて肥滿せる者◎酒の爲に肥滿して步行困難なる者◎廿歲前後の婦人にして肥滿せる者◎結血又は水氣の爲身體肥滿せる者◎尿滿より起る月經不順前後の肥滿 右の如き人は堅體丸を服用すれば適度の機能をよくし胃の作用を增し絕對に身體を害せず頗る身體はスラリとして堅しき容姿となる又肥滿の爲に顏色赤黑き人は色白くなる堅體丸を服用せば『身體痩せて皮はかになりはせぬか』とか『一度瘦せても再び太りはせぬか』など、本社に問合す人あれど決して然る心配なければ安心して服用せられよ。

◎藥價と註文法 堅體丸の定價は、十日分金二圓七十錢、廿日分金四圓八十錢、卅日分金六圓七十錢、四十日分金八圓五十錢の四種ある大抵の人は十日乃至二十日分にてよけれど肥滿甚しき人は三十日乃至四十日分を求められよ。註文の方法は振替貯金又は郵便爲替にて藥價送金次第直に送藥す、又ハガキにて御註文次第直に代金引替にても送藥す、太つた人は治療せずにおくと井上博士筒井博士の說の如く遂には實に恐ろしい病氣を發する事あり時としては生命をも奪はれます思ひ立ちしが吉日一日も早く本劑を用ひ堅々したる、中肉、美しき體格無病壯健の御身體となられる樣くれ／＼も御勸めいたします

發賣元 東京市京橋區鎗屋町十二番 千代田製藥合資會社 振替口座東京六一三九番

東亞煙草招宴 東亞煙草株式會社[illegible]挨拶あり次いで藤川道知[illegible]

三月廿日より廿四日まで

見切反物大賣出し

春着と入替に付 突飛の安賣仕候 半額位の見切品 澤山有之候

京城本町二 まる三吳服店 電話一五七番

値段改正

セメント瓦代品其他材料工賃等暴騰ニ付從來價格ニテハ到底御供給難申上候間今般左ノ通リ改定仕候

四拾枚モノ	龍山工場渡	一枚單價	拾八錢
同	釜山工場渡	同	拾九錢
同	元山工場渡		
	羅南工場渡	同	貳拾貳錢
四拾八枚モノ	龍山工場渡	同	拾五錢
	平壤工場渡		

色物ハ右價格ノ各壹錢增

追テ拜上請負ノ儀ハ社員現場ニ罷出候上御取極可申上候

京城府明治町(長電話九三七番) 特許セメント瓦製造株式會社

春蠶種 白繭一代交雜各種 黃繭一代交雜各種 朝鮮二號 又青熟 赤熟 支那二十號特大 白龍

原蠶種

蠶具 養蠶具 製絲器類 製種用具 消毒藥各種

桑苗 魯桑、接木、砧木 穗木、種子

龍山驛前 東亞蠶絲株式會社 京城支店 振替口座京城五二九九番

◇急告

▲ワイヤロープ▲マニラロープ

其他 各種綱類製造

並に 洋鐵船舶工業用品一式

右目下の高價時を見越し原料並に製品多數持合せ有之候得ば好期を逸せず御用命を乞ふ

大阪市西區波座上通り三丁目角 北谷秀之助商店 電話新町長六一七番 振替口座大阪五一五八一番 電信略號(キ)又ハ(キタヤ)

三寫眞提供

日活會社最新大撮影 天下の御意見番

舊劇 大久保彦左衛門 (全五巻)

江戸城大手御門先に於て大名と旗本の大衝突より怪傑彦左衛門と一心太助の大活躍◎馬蹄にて登城◎盥の鉢植の諫言◎阿部豐後守隅田川乘切等を上場せる松之助以下大車輪劇は痛絶快絶

山本、東一派總出演

新派悲劇 浪まくら 全五巻

芝子商家の秘密を無遠慮に曝露し上流家庭の暗黑面を描寫したる活悲劇

丁抹ダンマルク會社傑作

探偵大活劇 探偵パノプタ 前後篇連續十卷の內前篇五卷封切

▽諸君はジゴマを記憶せらる、ジゴマに遜ぬ異にせるも最新文明の科學を巧に應用せる大規模の探偵大活劇なり女探偵役主パノプタに扮せるは世界の名優暗の女等にて殷もエミリー・サンノム孃なり 孃は剛膽◎機智◎快腕の三要素を有る名探偵に扮して活躍せる全編拾卷一萬呎の最大雄編なり

當十九日より上場 大正館

株式は一時の崩れ
近く常態に復せん
神野大藏次官談

週間の株式市場の暴落に鑑して は別に根抵あるものとも思はれず單に一時的波瀾に止まり市場の整理さへ著けば再び常態に復する事と信ずるも大勢觀よりすれば我經濟界も既に往く所迄行きたるものと見る可く從つて十五日の波瀾の如きは今後度々繰返さるゝものと覺悟せざる可からず政府の放任主義が十五日の如き波瀾を見るに至りたりと非難する向もあるやうなれど財界に對する外科的治療は更に波瀾を擴大し不測の禍を招徠する虞れあるを以て政府としては此際急角度の方向變換を避け大圓形を畫きつゝ徐々に財界をして正道に復歸せしめん方針を採りつゝあり株式市場の混亂に關し政府が日銀當局と協議して救濟的態度に出づ可しと期待する者ある可けれど政府は左樣なる救濟の安賣は御免也儲くる時は政府を無視し少しく苦境に陷らんか政府の救濟を請ふが如きは餘りに男らしからざる所爲ならずや(東京特電)

殖鐵事業進捗

西鮮殖鐵會社の最近事業狀況を聞くに沙里院事務所は既に落成と共に執務を開始し沙里院信川二十二哩の測量設計既に終了近く認可申請の手續を行ふべく又土地買收に就ては地方人との交渉進捗しつゝあるも場合に依りては一部の收用を行ふべくこれが認可を申請中なれば早晩認可あるべく軌條は目下米國紐育に注文を發しあり三菱製鐵は來る四月引渡を行ふ筈なり諸般の事業着々として良好裡に進行しつゝあるが如し所して同社株券は遲くも本月末日には發送し得べしと

京株募入通知
募入外れは取扱店に照合

京城現株事務所にては十七日夜も又復徹宵執務しさしも堆積せる申込書の全部を整理し募入者に對しては全部十八日朝發送を了したり募入外れに對しては又今明日中に一々通牒を發する筈なるも既に取扱ひ店に對し入否全部を通牒し有れば申込者は直ちに取扱ひ店に就き照合すべしと

京阪金利

十七日左の如し

	東京	大阪
コール無條件	三、一〇	二、七〇
翌日物	三、〇〇	二、三〇
六十日物	三、五〇	二、八五
普通割引歩合	二八、〇〇	二六、〇〇

商況
株式
東京現株特電

十八日中値 ▲騰貴△下落

	押込	時價
鐘紡		
鮮銀	一〇・〇〇	▲二〇八、〇〇
殖銀	五〇・〇〇	△一〇五、〇〇

東京株式 至急電報

十八日第一立會 前電比較

東株	四一六、〇〇	……
同新	二一〇、一〇	……
商船	一七五、三〇	……
同新	一六九、〇〇	……
一新	一六六、〇〇	……

大阪株式 至急電報

	十七日後場大引	十八日前場寄付
大株	休	四〇五、〇〇
同新		三九四、九〇
紡新		一九四、〇〇
同新		一一三、〇〇
商船	會	一一〇、〇〇
同新		一〇九、五〇
郵新		四七九、九〇
同新		四五七、九〇
東紡		三二九、九〇
東新		二〇四、五〇
宇米		一八一、二〇
上取		一九九、九〇

大連株式 至急電報

十七日休會

安東現株特電

十八日 當限 先物

	當限	先物
安東 寄	二九二、〇〇	二二八、〇〇
止	二九八、〇〇	一一〇、〇〇
信託 寄	一一〇、〇〇	二八〇〇枚
當限出來高	……	止
滿洲錢證 寄	二八〇〇枚	……
先限出來高	……	…枚

京城現株

標準値段　▲印騰貴 △印下落

	掛込額	値段
仁取	二五・〇〇	二四九、〇〇
京株	一二・五〇	▲四五、〇〇
東拓	五〇・〇〇	六七、〇〇
同新	三〇・〇〇	四一、〇〇
朝郵	二五・〇〇	四一、〇〇
道興	二五・〇〇	一六、〇〇
皮革	三〇・〇〇	二八、〇〇
東畜	一二・五〇	一六、〇〇
朝紡	一二・五〇	三三、〇〇
朝紙	二五・〇〇	六二、〇〇
朝銀	五〇・〇〇	六〇、〇〇
同新	一二・五〇	二三、〇〇
滿毛	一二・五〇	四三、〇〇
滿糖	二五・〇〇	四一、〇〇
朝煙	四〇・〇〇	三七、五〇
扶土	一二・五〇	二五、五〇
東亞	五〇・〇〇	九七、〇〇
同新	一二・五〇	三六、〇〇
森鐵	一〇・〇〇	七、二〇
中鐵	一二・五〇	一二、五〇
雅鐵	二五・〇〇	一四、〇〇
興鐵	一〇・〇〇	四、五〇
南鐵	二五・〇〇	六、〇〇
朝日	二五・〇〇	五、〇〇
安信	一二・五〇	三〇、〇〇
鐵證	一二・五〇	▲四八、〇〇
京銀	二五・〇〇	三一、〇〇
葉莨	一二・五〇	三七、〇〇
朝肥	一二・五〇	一八、五〇
大土	一二・五〇	一六、〇〇
漢銀	二五・〇〇	一六、〇〇
特許	一二・五〇	一八、〇〇
商工	一二・五〇	一四、五〇
仁倉	一二・五〇	一四、〇〇
窯業	一二・五〇	一六、〇〇
京電	二五・〇〇	六〇、〇〇
同新	一二・五〇	二一、八〇

東京先物別報

十八日前場(二葉屋入電)
新東株四〇一、一〇▲郵船一一九、三、九〇▲同新一〇九、一〇▲新九 商船二〇一、二〇▲日活動一〇四、▲新富士紡五〇、五〇▲東拓新七五、一〇▲滿鐵二〇、二〇新一六六、〇〇

京城現株市況

今朝市況は京株の浮動捌ひに引立ちたるも其の他の諸株は殆んど商內なく從つて相場の動きも昨日と變らず大體保合へり昨午後より今朝に亘る賣買手合平均値左の如し

森林鐵道	七、二〇	一、五〇
南鮮鐵道	六、五〇	二、〇〇
朝鮮紡織	三三、五〇	三、〇〇
京城銀行	三一、五〇	五、〇〇
滿洲錢證	五〇、〇〇	二〇、〇〇
京城株式	四五、〇〇	二、〇〇
仁川取引	二四八、五〇	一、八五
大阪株式	三八七、〇〇	一、〇〇

京城現物市場株買入
端數ニテモ高價ニ買入申候 御一報次第店員參上可仕候
二葉屋株式店
京城府永樂町二丁目卅三 電話一九六一・四九番

京株浮動増加
消化力强烈

京城株式現物取引市場株は公募割當通知到達と共に漸次端株の浮動増加の傾向を帶び昨日より今朝に亘り各店共殆んど京株の買占めに忙殺されたる有樣にて其の賣買高合計一千二百枚の多きに達せるが一部には內地筋の買物を云爲する者ありて相場も先十七錢引締り高値は四十五圓五十錢もありたるが四圓五十錢より五圓處最も多かりき而して之等の買占めに吸收されたる株式が如何なる手筋に吸收され居るやは興味ある問題にして株式店としては今日の處單に取次ぎに過ぎずして思ひ切つたる思惑を試むる振合も見えざるが彼の京城劇場に割當てられたる一千株の大口も既に處分されたる由なるも如何なる筋に賣はれたるかは秘密に附せられ或は前記の內地人手筋に吸收されたるべしなどの噂もありて兎に角第一回拂込切迫と共に同株の人氣は漸次好況に向へるが如し

春蒔種子各種販賣
株式現物 京古閑株式店大田代理店
買賣問屋 松田作一
電話長三九 振替二三七三

公債 株式
現物 賣買
李章魯商店
證券部
京城南大門通三丁目
電話長 三四五番 五〇八番 振替 二〇四番

錢證交換好望

滿洲錢證交換株は昨今地場安東に於いては品渇の爲め賣買双方共殆んど行はれざるが同社の內容は最近頗る充實せるものゝ如く株式賣買の依託こそ同地方金融逼迫の爲め減少したるも銀の賣買依託は日々數十萬兩を下らず其の手數料は勿論賣買値鞘の收得は同地仲買人中に群を拔きて任じ居れるのみならず最近支那市街及び大連に支店を開設して大連取引所第一部仲買人の權利を獲得したる等其の發展見るべきものあり昨年十月創立以來今日迄既に拂込資本の十割以上を利得し居れる由にて當地にも前手合四十五圓に對し僅かに二十枚なから五十圓の商內ありたり

公債 株式 現物問屋
新田耕市商店
京城 電話長

安信益安し

地方金融界の逼迫に伴ひ安東信託公所株は漸次暴落の徑路を辿り十六日當限り三十二圓に寄り三十一圓に打止め四月十日限りの先物三十二圓五十錢に寄り四十錢と軟弱に打ち止めたるが十七日は當限り三十圓五十錢と崇り遂に三十圓臺を破り二十九圓八十錢と打止め十日限りの先も三十一圓に寄り一圓五十錢と稍々强氣に打止めたり然るに一方本月二十五日の受渡しに際し多少の危險を作ふにあらずやと懸念するものあり目先如何に逆轉するかは不明なるも急に擡頭の餘地なかるべきかと云ふものあり(安東縣)

電話本局 長807 808 809 810 811 812 2345 4381 4382 4383 4384 4385
大阪株式取引所仲買人
松井憲三商店
大阪北濱一
定期部 現物部 信託部 調査部

兜町たより

株は漸く理想派の時代と成たるは今日迄の理想が今や着々實現して來たからである▲貿易の入超は存外に巨額を示し金融の逼迫も更に豫想外である都會は勿論のこと從來豐富と稱せられた地方の資金も大部分株券や土地等に固定し流通資金は甚しく逼迫を訴へて來た▲此故に銀行の警戒は益々嚴重となり金利は意外に騰貴したのみならず第一金を融通しない▲今後株の形勢が益々險惡となるならば株に對する金融は絶對に不可能となるかも知れない▲只だ獨り株のみならず生糸も米國の需用大に衰へて居り糸米等も最高値より千圓安となり綿絲諸物價漸落の時代となるのであらう▲斯の如くにして今日までの買力派の勢力が漸次衰退して遂には再起の餘力がなくなるのである▲投機熱が斯の如くにして冷却し今日まで引取つた株券の或者は金庫の中で反古化する時代も來るであらう

株賣買 現
山六商會
京城永樂町二丁目 長電話 振替京城

鐵材一式、鐵工
大田春日町
瀧川支店
長電話二二五番

米況

東京期米特電

十八日前場
當限寄付 四十八圓五十六錢
同 止め ………
中限寄付 四十八圓五十錢
同 止め ………

	十七日後場	十八日前場
寄付	四八、三〇	四八、四〇
高値	四八、四九〇	……
安値	四八、三〇	……
止め	四八、三五	……

大阪期米特電

十八日前場
當限寄付 四十七圓四十六錢
同 止め ………
中限寄付 四十七圓五十一錢
同 止め ………

	十七日後場	十八日前場
寄付	四七、三九	四七、四一
高値	四七、三九	……
安値	四七、〇五	……
止め	四七、〇八	七七、一九

神戸期米特電

十八日後場
當限寄付 四十七圓三十一錢
中限寄付 四十七圓二十一錢
先限寄付 四十七圓十五錢

	十七日後場	十八日前場
寄付	四七、七一	四七、五五
高値	四七、七一	……
安値	四七、三九	……
止め	四七、四二	……

下關期米特電

十八日前場(晴、浮足)

公債株式 現物問屋
三和商店
京城府黃金町 電話

釜山正米特電

內地期米引締りの報に氣配堅調となり持合の商狀を呈し三等神力四十八圓八十錢穀良四十九圓三十錢所にて一千二百叺取引ありたり(十八日釜山)

群山正米特電

本月末四十八圓四十五錢來月中七十五錢同末八十八錢穀良四十九圓五十錢物四十八圓八十錢(十八日)

仁川期米
十八日前場

今朝天候東南の風に晴各地入電未著なるも前日阪地の安移りに下叩かれ場面は大阪止めの小戾しに今朝は又復買氣を助長し立會は當出來ざるが中⑰の買ひに三十五錢と二十一丁高に寄付先限も割高思ひの新規買ひに壓せられて十四錢と下迫りしも押目は○安全の熾烈買ひに二十八錢と跳返したるも折しも⑰買に⑪⑦の克く賣りて二十一錢と弛みて引

仁川米豆取引所仲買人
坂倉仲買店
電話 六五〇番 二五五番
有價證券現物賣買

▲第二節 當中出來ざりしが先十三錢と低派の突進賣りに下せしが押目は⑰⑪の防戰買ひに支へられ二十二錢と跳返し⑬の賣り浴せに伸惱み十六錢と弱みしも押目買ひに鼻息荒らきに二十五錢と躍進し戾り待の賣りに壓せられ二十二錢と小弛みに引

▲第三節 當中出來ず中先二十七錢と手堅く始め因④⑫と全○安の手揃ひ買に戾り旺の人氣を壓倒し四十六錢と跳返して引

▲第四節 大阪前寄四十七圓五十一錢と二十三丁高を移せしかは當中出來ざりしが先限は四十錢と手堅く始め五十錢と躍進せしも④⑫の手詰めに軟派賣添へして三十五錢と辷り押目は際かさず硬派の買直しに支へられ四十九錢引

仁川米豆取引所仲買人
因仲買店
仁川海岸町三丁目
電話長四〇四番 二二〇番 電略(ア)又ハ(カチダ)

▲第五節 當中更に出來ず先四十一錢より六錢と上伸せしも戾りは手詰め買に二十五錢とダレ押目は相變らず④⑦の買直しに⑦の煎れ買を添へて四十三錢と返し二錢と好勢に散會せり

果して彼岸底乎

阪地は軟派に有力者を網羅せるだけに大暴落後の反撥としては頭・鈍調なるのみならず尚ほ灰汁拔けの足らぬ風情にて動もすれば今一段の暴落を演出せんとする形勢なるに反し當地は逆に高調を呈し從來彼我の値開きを反し今日にては逆に百丁の上鞘を維持するといふは要するに軟派の賣過ぎ祟りといふの外なく買方には有力なる後援のあること

精叺 各種
鮮米 大田
蓑浦商店
長電話五二番

同時に各地正米一齊に手堅き爲め阪地安に乘じて軟派の賣込み難き事情もあり殊に今回大暴落の原動地たる東京市場は解合ひの成立を見たる爲今前場は又復買氣を増長して當限出來ずとも中限四十八圓三十五錢と手堅く始め先限又三十錢と二十一丁高に寄付割高思ひの賣物に壓せられ一時二十二錢擱みに採合せしが阪地電報待ちの折柄大阪の高移りに熾烈に買捲くり小口の煎れ買と相俟つて買方は愈々目先彼岸底として一切呑みの高値を上廻りせしが賣方は高値に利喰ひし押目へ更に買直さんとする態度なると賣方は飽迄相場を睨迫し引卸せんとする驅引商內にて今一息伸惱み風情となりしが眼先果して如何に展開するか

東京立會反騰

相場の激落と形勢の不穩とに十六日前場當限一節以降の立會を停止せし東京米は十七日中の解合ひ成立を以つて解決したるより後會値は先四十八圓三十錢と停止前たる十五日後場止めに比して六丁安に寄付たるもこれを解合値よりする時は八十丁の上値に當り又當限も同時に解合値に當り前場寄付は當四十八圓五十六錢先八十二錢と更に小强く殿來の底拔け相場も解合の成立後に於ける買方の出直りと株式綿絲の底突き模樣に場面漸く灰汁拔けの觀を呈し一般の人氣も彼岸底の觀測に傾き始めたれば此機に更に暴落後の反騰あるべき模樣ありと雖貿易の入超銀行の警戒等より來る金融の壓迫加はらんとし且つは不景氣來の聲にさへ脅かされ易き今日こそ社會人心の上にも漸次逆調を帶び來れる兆候もあれば果して昔日の反撥力を有するか否やは疑問にして竝大なる龜裂の入りたる揚句丈に一般の人氣は服せざるものと見るを得べし

仁川米豆取引所仲買人
齋藤榮之助
仁川海岸町
電話長三六七 三六九 電略(サ)又(ヤマサ)

大阪手堅し

大阪は昨後場安値七圓○一錢迄落ち込みて引際十八錢と盛返したるが立會後の東京高を受け今朝寄付は七圓四十錢と二十二丁高を報じ稍手强き成行きとなりしが暴落後の反撥力としては頗る鈍ぶく場面何となく頭重き處あり

十七日後場	寄付	四八、二五
	安値	四八、〇九
	高値	四八、四九
	止値	四八、丁度
公定値段	一節	四八、三九
	二節	四八、二六
	三節	四八、一四
	四節	四八、一〇
十八日前場	寄付	四八、三〇
	止め	四八、四二
	高値	四八、五〇
	安値	四八、一四
平均値段	一節	四八、二六
	二節	四八、二〇
	三節	四八、二九
	四節	四八、四六
	五節	四八、三九
出來高		四十一萬八千石
帳入値段	當限	……
	中限	四八、三三
	先限	四八、三九

後場阪地安不味

前場阪地高に買氣を喚びて四十八圓五十錢と反騰し小口手詰めに四十二錢と小戾して打止めしが引跡大阪前止め四十七圓廿九錢の安移りに後場は再び買氣沮

覆して當中出來ざりしが先四十八圓十八錢と二十四丁安に寄付たるも押目は相變らず買物豐ろへ⑪好く買りて十五錢と押し引際⑦カの買に二十三錢と締まり二錢と底意强硬に引

▲第二節 當出來ず中二十五錢と締め先十七より八錢と締まりしも④ん安より小口の賣物現はれ十五錢と弛み七錢と持合ひに引

市場雜觀

現在取組高 當限 一萬石 中限 五千石 先限 四十一萬八千石

阪地は僅かに三十丁の動きなるに引替へ獨り當市場は何故に斯く高いのかと其者に聞いて見ればアナタ迄でも此の朝鮮米を莫迦にしていなはるでコンナ反動高を現出するこふ譯です內地が崩落したからとて鮮米相場が安くなるに極まつた者でもありまへん夫れに正米は別問題として金力と腕力戰の阪地が安いからと云ふて○○さんが何萬石といふ敢行賣を通すもんだから相場の奴が逆に來ると高い譯ですは軟派の賣過ぎに歸着する▲併し如何に正米高を根據にして阪地より百丁の上鞘に進むと云へど軟派の踏み退しても倒れたる鳥の餌を漁るが如く買ふ一寸正氣の提灯も點け難い處あるのか▲又篩分りより考へれば買込みに餘り妙味がなかりさうにもあると共に迷ふて居る連中も隨分あるらしい▲何分買方には正米と云ふ無敵な親分が後援して居る丈安心を許す處あるのみか現在の買方は殆んど十呂盤詰めで少々位い阪地安にも轉び下げ拔けしない强味がある向は靜かに儀を維持して居る間は何百丁叩かれても雖平と買ひ下がらうといふ固い信念を持つて居るらしい▲こういふのは鮮米の前途に阪地は安くつても其の割り下迫り百丁は恐ろか二百丁以上も上鞘を現出する事のないにも限らぬ又此の米價高に田舍の水田を安く投賣りのあるは何を意味して居るか眞逆慢內豐富に賣惜んで居る米とも見做し難い▲左すれば矢張り凶作の祟りではあるまいか兎に角正米師が買付けに困難して居る事は確かで手持のない米を夢中になつて何百丁も下鞘を買込むのは考へものらう

京城正米市場

當正米市場は定期安にも臨かざる勢り又定期高にも追從せざる難元來が底意强硬の際なれば兎角上足には牽引され易く今朝は各地定期の睨かりに人氣小强く氣配十錢高の見當なりしが精米筋の一齊控へに商內殆ご行はれず

粟弱持合ひ

粟は其後格別の變動なく今朝は海城舟物一車二十四圓七十錢遼陽古現物一車二十二圓五十錢糯粟一車龍山渡し二十四圓三十錢の手合せにて殆ご釘付的に持合ひ居れるが何分軟材の相重なりし今日とて底意は依然として軟弱を呈し居れり

仁川正米市場

近日來定期安に伸力を阻さへれし正米は前日の反撥を好機に人氣復活して今朝は三等合格上物四十九圓の買聲なるも賣應ずる者なく並物は四十八圓九十錢見當にて小口取引弗々行はれたるが氣配は前日より一二十錢高の見當なり

大阪三品特電

十八日前場

三月限	六八三、九〇
四月限	六六八、九〇
五月限	六五四、六〇
六月限	六五九、六〇
七月限	六二八、〇〇
八月限	六二二、〇〇

演藝案內

日本活動寫眞會社代理店
大正館
櫻井町 電話八七三番
◎實寫『三大美發』提供 支那上海生活の實況
◎舊劇『薯碌爺』長尺
新派悲劇 浪まくら 全五卷
偵探大活劇 パノプタ
日活會社最新大撮影 天下の御意見番 大久保彦左衞門

喜樂館
本町一丁目 電話九七番
雷風太郎 全四卷
運命の指環 四卷上場
軍神廣瀨中佐 全八卷

壽館
本町二丁目 電話七八五
天下一品 出演名物 安來節家元 お糸一行 每日晝夜開館

浪花館
明治町 電話一六〇番
義烈眞保傳(桃中軒如雲)

黃金館
黃金町 電話一二六七番
新派 後のホト・キス
伯林の狼
舊劇 雷電 一作

▲店員募集▼
身體强健商業に經驗ある內地人 二十二歲以上 三名
身體强健高等小學校卒業程度 十六歲以上數名
希望者は至急來談地方の方は履歷書を添へ書面にて申込あれ
仁川本町四丁目
醬油 酒類 問屋 千鳥正宗支店 電話三五九番

請負公告
一、延曙山植栽工事
右來三月十九日午後三時入札ヲ執行ス希望者ハ當府門前ノ揭示ヲ見ヨ
京城府

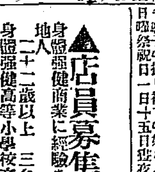
倉持特製實用靴
編上靴及短靴
一枚革深ゴム靴
倉持靴店
東京本郷春木町八 振替東京二〇五三九番

廣告
水府義士 安兵衛賀入
浪花節 如雲
浪花館

ち
症で困る方切手三錢送れば永年の病も自宅でキラズに治す良藥を無代で敎ゆ
名古屋市南小川町五〇 救生館

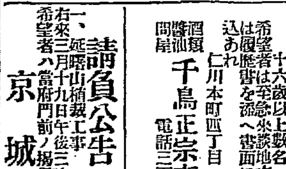
目の様にハッキリしみ

治った實例の多くは
小兒藥には此目壹に限る
東京京橋築地 タイガー商會


精米麥機
詳細圖入說明書は申込次第送呈
製造元 大阪西區市岡町

川合時計店
京城本町二丁目 電話一九一八

義手足
專門製作 脫肛痔をさへる器 脫腸バンド一式
高野肢作所 京城本町一丁目


たんせきと引風にセキドミン

露國少將入京

重大用務を帶び

少將は十五日參謀本部を訪ひ何事か報告する所あり尙外務省をも

民
海外植民學校
東京市外世田谷村 植民學園
生徒募集(規則要郵券五錢)

生徒募集
本年四月本校第一學年並附屬工業傳習所第一學年ニ入學セシムヘキ生徒ヲ左ノ通リ募集ス
京城工業專門學校第一學年
染織科、應用化學科、土木科各科ヲ通シ 朝鮮人 約三十名 內地人 約十五名
附屬工業傳習所第一學年
木工科、金工科、窯業科、建築科、鑛山科、化學製品科、陶器科、織物科 各科ヲ通シ 朝鮮人 約五十名 內地人 約廿五名
詳細ハ三月十七日以後ノ朝鮮總督府官報又ハ直接本校敎務係ニ就キ承合スヘシ
大正九年三月
京城工業專門學校

土地家屋電話共賣却
京城黃金町一丁目一九九
同所 安藤
御入用の方は直接來談電話照會御斷

保險金領收廣告
一金參千圓也
右ハ故朴贊祐大正八年十二月中八千代生命保險會社京城支社ト契約致居候處本年二月二十日死亡ニ付キ當地殖產銀行支店ノ手ヲ經テ支拂ヒヲ受ケ候依テ同社ノ確實ト支拂ヒノ迅速ナリシ事ヲ廣告候也
大正九年三月　日
江原道春川
保險金受取人 實弟 朴贊祐

▲致富株界及米界の福音
此廣告切添記載新聞名認め貳錢郵券添御申越あれ現株及期米騰落分岐材料因必的通信壹回無料郵送贈呈す
大阪堂島濱一 兵庫水木通二 電北一八五六番 本四三五〇番
近藤商物通信社

◉大成功 大金儲けの特約店募集
吾人生存上無くてならぬ日用品百貨を現金暴騰の際にも拘はらず破格廉價而かも何等仲次問屋の手を經ず直送御小賣す特約店希望者は郵券六錢送れ無經驗でも出來る新方法の營業案內と百貨滿載の原價表送る 東京神田萬世橋際 日本通商聯絡會社內

□謹告□
來廿一日第三日曜日定期休業に付勝手ながら御用の御方は成可く今二十日御用命仰付被下度候也
京城日報社代理部 電話一六千九番
各位

經濟雜誌 事業と投資
▼讀め!!! 眞面目なる經濟雜誌 創刊第一號
會社近況 ▲朝鮮製紐の昨今 ▲朝紡の近況 ▲朝鮮製粉の昨今 ▲朝鮮製粉の活躍 ▲電興如何 ▲増資後の東電
新設會社內容 ▲京南鐵道 ▲朝鮮水力電氣と投資の研究 ▲大正九年財界の大勢 ▲南朝鮮鐵道 ▲中央鐵道 ▲森林鐵道
六輕鐵の計劃內容
今期の配當と其內容 ▲東電の今期と配當 ▲京電の增配と其內容 ▲滿洲製粉配當五分 ▲漸進的なる朝鮮商業 ▲漢銀の當局据置 ▲鮮銀躍進と今期
▲貨幣問題 ▲食料問題 ▲米價の研究 ▲銀行會社要錄 ▲其他金融會計及商況等重要記事滿載
三月十五日發賣
讀め!!! 投資家唯一の好伴侶

にせ物あり 有田 觀を取おれ
◉あらゆる治療をすましても効かなかつた者は一度御來談あれ
分析料 百圓 進呈
獻 醫科大學 帝國大學院 處方を比較配劑せる藥にて當局の證言に違へる事を發見せる時は
京城南大門外停車場通 有田ドラッグ
京城黃金町三丁目電車通 有田ドラッグ(長電話一八三番)
龍山線兵營前 釜山大廳町二丁目 元山本町三丁目 平壤道廳正門斜向 仁川宮町二丁目 大邱停車場前 鎭南浦警察署前 晉州大安洞榮町 大連岩代町
全國の有田ドラッグ 發になると、にせが出來るヨ
有田ドラッグ 東京日本橋通四 大阪心齋橋筋南
りん病 ばいどく 特效藥
請合藥

大阪古賀院長創製 ひぜん にきび 花柳病 奇妙 即效 全治
定價一圓二圓四圓 送料十五錢 海外五十錢 代金引換 振替大阪五二八七〇
發賣元 大阪 古賀皮花院 各藥店

効力絕大飯欲 定價一圓 東京麴町

夜の蜘蛛

(二二六)　江見水蔭　伊藤晩僊畫

淀子は家扶詰所へご引張つて行かれた。早此處には堅岸老大佐が眞赤な顔をして頑張つてゐた。

『北條、お前は御門限に遅れて歸るなんて、怪しからんぢやアないか』こ先づ一喝した。

そんな事でビク〳〵する淀子では無い。

『用事が御在いましたので、つひ……』

『御當家に取つて一大事が有るなんて、それは必竟門内に入りたいから、好い加減な事を申したのぢやらう』

『お察しの通りですわ』

『や、勿論察して居つた。併し兎に角一應は邸内に入れて、改めて申渡す必用があるので、此處まで呼んだのぢやが、お前の様な女は危險ぢやから、今夜限り暇を遣はすで、早速引取つて貰ひたい』

『それは何方からの御命令で御在ますの』

『ウム、それは……私の命令ぢや』

『妾は貴州の御命令では下りません。妾は伯爵からお頼みを受けて御當家へ參つて居りますのですから……』

『ウム……いや、その伯爵の御意志を受けて、私から申し渡すのぢや』

『そんな筈は御在ません。伯爵がそんな事を仰有る譯が御在ませんのですから……』

『いや、確かに然う仰有つたのぢや』

『それならば伯爵にお目に掛りまして、其上で承はりませう』

『そりや飛んでも無い事で。伯爵には夕方から非常に御重態で人事不省の有樣であらせられるで……』

『おや、それは不思議で御在ますね。人事不省であらッしやる伯爵が如何して妾に暇を遣るこいふ御命令がお發しに成られましたらうか』

『ウム……』

『もし然う仰有つたとしても、それはお熱の加減かも知れません。決して伯爵の御本心では無い事こ存じますわ』

『いや、實は、御奥からの御命令、それに又我々も亦然う思ふ。元來今度の樣な御病氣にしたのも、皆お前が種々薦いたからぢや』

『おや、それは聞き捨てに成りません。如何して妾が伯爵を御病氣に致しませう。何か證據でも有つて仰有るのですか』

『證據も何も入るもんか。華族は非常ぢや。お前は華族方の御邸内に入るべき資格の有る女ぢやア無いちう事ぢや。チャンこお前の素性は分つこるぢや』

『カルメン小糸こ云ふこミですか』

『然うぢや』

『それは伯爵が一番能く御存じなのです。御存じの上で妾をお屋敷へお入れ下さいましたのです』

『そんな不都合な事が有るかッ』

『もし不都合こすれば、お入れ下さつた伯爵が御不都合なんです。それに御病氣にお罹りなさると同時に、妾に伯爵が被仰いました。誰が何こ云はうこも伯の側を離れずに看護をしろこ、厳くおほせ附けで御在ました』

『然るにお前は、夕方からして外出して夜遅くまでお側を離れて、致して居ッたぢやア無いか』

『あッ』

『それに就て辯明が有るかッ』

鯛ちり　よせ鍋　權平庵
京城本町五丁目　電話貳貳參七
今般第一種料理店こして認可相成候間一層勉勵調理仕候

日報詞苑

歌壇

毒花惡花　衣川幽子

ばらの花匂へる闇を夢に見てひさ日は過ぎぬ寥くも樂しく
幼な子の心にかへる夜のさびり迫りて來れば母を戀ふかな
何處まで燃ゆく胸ぞ芽原に火を點けしごこ猶もりかゐる
惡の花紅く咲く夜はひそやかに乳房をさへて我を戒しむ
叱れども又慕ひ寄る惡魔の手心何さて彼に與する

□　池　遊船男

酒欲しき思ひつゝ醒る鄙か夜の枕に重き汽車の音かも
夜更けてもいねな寝かたしあはれしく小床に獨り酒を欲りつゝ
夜の二時いまだも床にしみ〴〵さ酒を欲りつゝ心冴ゆ來ぬ
背にぬくき畫の床屋のこの暖爐鉄の音に眠氣さく來る
冷たさの鐵身にひゞく鐵のあたり樹ねてわが見る足袋の破れかも

□　春野菊麿

紅椿は破れし戀の葉てどころ酒のめ飲むさ狂ふわれはも
血の色の褪せぬまにこそ戀をせよわれ等がために待たず月日は
ほつれ毛の二筋三すぢもつるるもなまめかしけれ美しき染子は
君が頬の白きあかき口紅もなべて戀しくなつかしき哉
たまきはる生命忘れつ突丸が臨の前にわれた投げ棄つ

□　青木しげる

春の空見は見つれご果しなし心いよ〳〵穏かならず
誠然らむおほよそ人に遇はざれば咲きもあらじ迷はざるべし
雪もやひつゝましく居てもの欲れどやがて心の病などに病む
つれなかる思ひ出こ云へ人形の愛しさも思へすさぶしき生命
大ぞらに光りみなぎるしかはあれどさきめく心仰ぐさぶしも

□　楨家正果

落ちかゝる新月さむき夜くだちの外の面に風はいたく渡るも
籠りゐて外の面にわたる疾き風の叩く玻璃戸に物思ひけり
吹きなびくポプラの上にうき雲はしげくゆきかひ明けわたぬかも
斯かる夜け汝もかなしき臨を伏せむいれご床ぬちいれかたからめ
すべもなく詫びてさむき妹がには冬木の中に山茶花咲けり

新刊紹介

▲常磐木(大須賀乙字追悼號)雜誌『石楠』『常磐木』『懸葵』に關係し俳句の宣傳に努めて倦まざりし乙字氏死して既に半歳、其の追悼の爲め巻頭に氏の略歴を掲げ芳賀博士外六十有餘名士の追憶や感想等を蒐め絶筆の色紙版を添へてある(四十錢、東京小石川區東青柳町共社)

讀者の部分

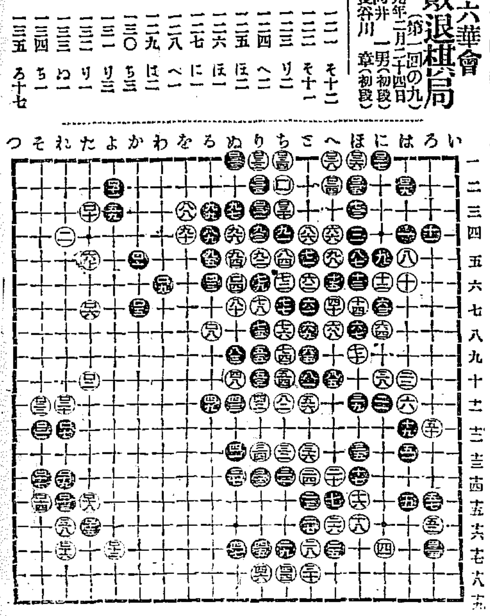
▲巳代ちやんの御兩親へ、貴下の子供さんが毎日必ず時を限つて大聲で泣かれてゐるを放つて置かれるのはどう云ふ譯ですか日中夕刻は未だ我慢が出來ます夜十時十一時過ぎ曉方四時頃四つや五つの子供を椽側へ放り出し貴方には家の中へ逃入つてしまひ子供さんだけ寒い椽側で戸を叩き足を踏鳴し乍ら大聲で泣き傷に毎夜安眠を破られる近所の者は例へ十分十五分の間こは云へ聞いて居るだけで非常に迷惑します如何に懲めの爲とは云ひ乍ら毎日毎夜時によると一晩數回も恣い椽側へ出したり入れたりされるのは余りに愚な仕方ではありませんか第一其爲に大切な子供さんの幼い心の中にどの位暗い陰が造られつゝあるか考へて御覧なさい余りに親として無責任な育て方ではありませんか、それから又お互に人間が集つて暮して居る以上は無暗に他人に迷惑を掛けない樣に注意なさる樣特に母御に呉々も御注意するのは當然のことでせう兎に角もう少し眞面目に親さしての責任をお考へ下さい(一憤慨生)▲二十五の男へ相談致しませふ左記へ御尋ね下さい(櫻井町二丁目二二二久恒磯造)▲數石金集を讀みたいさ思つて居るのですが讀者諸君の中で御讓り下さる方がありましたら仁川龍岡町の秋見へ御一報願ひます(猫の子供)▲ケイエム君御望みの空氣銃余が許にあり御入用なら軍司令部の廐舍に揆遊を惑れて來給へ但し代價金拾圓こす(オービー生)

東京六華會　青年棋客　敗退棋局

(第一回の九)　大正九年二月二十四日

先番　向井一男(初段)
先　長谷川章(初段)

○	一二一	そ十二
●	一二二	そ十一
○	一二三	り二
●	一二四	へ二
○	一二五	ほ二
●	一二六	ほ一
○	一二七	に一
●	一二八	へ一
○	一二九	は二
●	一三〇	ち三
○	一三一	り三
●	一三二	り一
○	一三三	ぬ一
●	一三四	ち一
○	一三五	ろ十七



三十圓の資本で五十圓儲る　特約店募集

三光書店はいろ〳〵の面白い、爲になる本を出版する東京でも有名な本屋ですが今度全國一町一村一名を限つて特約店を募集する事にしましたどんな片田舎でも出來るは勿論、仕事の片手間にも樂に出來ます、資本は僅かに三十圓で一ヶ月に五十圓以上は乾度儲かる事を保證します希望者は郵券二錢封入申込次第詳細案内書を無代進呈します至急御申込あれ

東京九段下　三光社地方

月やく

◎頭痛がする◎めまいがする◎こまり心配の人

何こなく腰工合惡るくして人知れず心配の方

用ひて〳〵も効かぬイカサマ藥に迷はず御出下さい出來ない方は切手封入すぐ申込あれ永年經驗ある婦人の妙藥を御知らせ致します(一番たしかな藥)

大阪東區東鍜町停留所東　いづみ屋

最も安心の出來る靴

直接提供

ボックス上等編上　一號　金五圓也　二號　金五圓五十錢　三號　金六圓也
ボックス形革短靴　一號　金五圓五十錢　二號　金六圓也　三號　金六圓五十錢
ボックス深ゴム　一號　金六圓也　二號　金六圓五十錢　三號　金七圓也

御注文の節は靴の種類こ足袋の文數通知あれば代金引換小包送料實費にて御送附申上候

東京本所三ノ橋際　松本高等靴製造所
電話本所五〇九三　振替東京二五五八　電略(マ)又(マツ)
定價表進呈　郵券二錢要

絹縫糸製造卸商

靴用ミシン糸其他絹糸類直接利用
多少に不拘御注文に應ず　見本呈

福山市櫻馬場町　佐藤光太郎
振替大阪三七九貳一番

最高等治淋劑　トリート

近來淋病の患者にして或種の藥品を單味にて用ふる人多し這は胃腸及び腎臓の疾患を誘起する副作用ありトリートは淋病に對して速効快治の能力あり且副作用更になく實に完全にして最とも優良なる治淋劑なり

價　三日分壹圓　七日分貳圓　十五日分四圓

大阪市堂島元娼府　本舗　高橋盛大堂本店
同心齋橋筋博勞町　發賣　高橋盛大堂分店
東京市神田柳町　同　高橋盛大堂出張所
到る處の藥店にて販賣す

光榮ある美顔化粧料三十六種の内

◇桃谷研究試驗所創製

美顔クリーム

一、御内意により創製したる品
美顔クリームは素こ美顔洗粉こ共に、或る尊貴の御係から御内意を蒙つて創製したクリームであります。

二、二つの特色
色の白い事こ、質の輕い事こは、この新しいクリームの二つの特色であつて、舶來品にも勝るこ言はれる點であります。

三、ホンに理想のクリームとはこんなもの
普通のクリームには多少ネバリ氣があるものですが原料から違つて出來てゐる美顔クリームには殆んごネバリ氣が無く、さら〳〵こして附けた後の氣持のよいこご、ホンに理想のクリームごはこんなものかこお思ひになります。それに配合の妙を極めた芳香は、百花の園に遊ぶが如き思あらしめます。

四、アレ止、皮膚美、小皺の防ぎ
凡て容貌美の根本こなる皮膚美及び皮膚衛生に就ての美顔クリームの優れた作用は學者の研究の價値を證據立て益々好評を博して居ります

美顔クリームの用法

一、素顔の美
素顔の美を裝ふ第一の必要品こして、歐米各國では、精良なクリームが盛に用ひられてゐます。入浴、洗面後、美顔クリームをお顔の地へ、よく擦込んで融くやうにすれば、皮膚を軟やかにし、荒れを防ぎ、地肌を整へ、ツヤをよくキメを好くし、素顔を美しくする優れた効果があります。

二、お化粧下
お化粧下として精良なクリームの必要な事は、今更言ふまでもありません。長時間のお化粧の美しさを保つには是非無くてならぬ美顔クリームを、皆様のお化粧用にお勸め申し上げます。

三、新化粧法
美顔クリームを下地に引いて粉おしろいをはき付ける新しい美しいお化粧法をお試し遊ばせ!!

◇優美な化粧
◇新しい化粧

美顔粉白粉

◇美顔クリームを薄く延いた後へ、粉白粉こして此上なく分子の細かな、そして白さこ光澤この殊に美しい美顔粉白粉を刷き附けたお化粧は、得も言へず優美な化粧美を現します

美顔化粧料　發賣元　桃谷順天館

發賣所　東京市日本橋區本町四丁目(電話本局二三〇・一一六一・六二一七番)
實驗所　東京市麴町區有樂町一丁目(電話新橋一六一三・二六二九・三六一四番)
營業所　大阪市西區西道頓堀二丁目(電話土佐堀六四〇七・八〇六・[illegible]三一二八番)